

報會定同高長



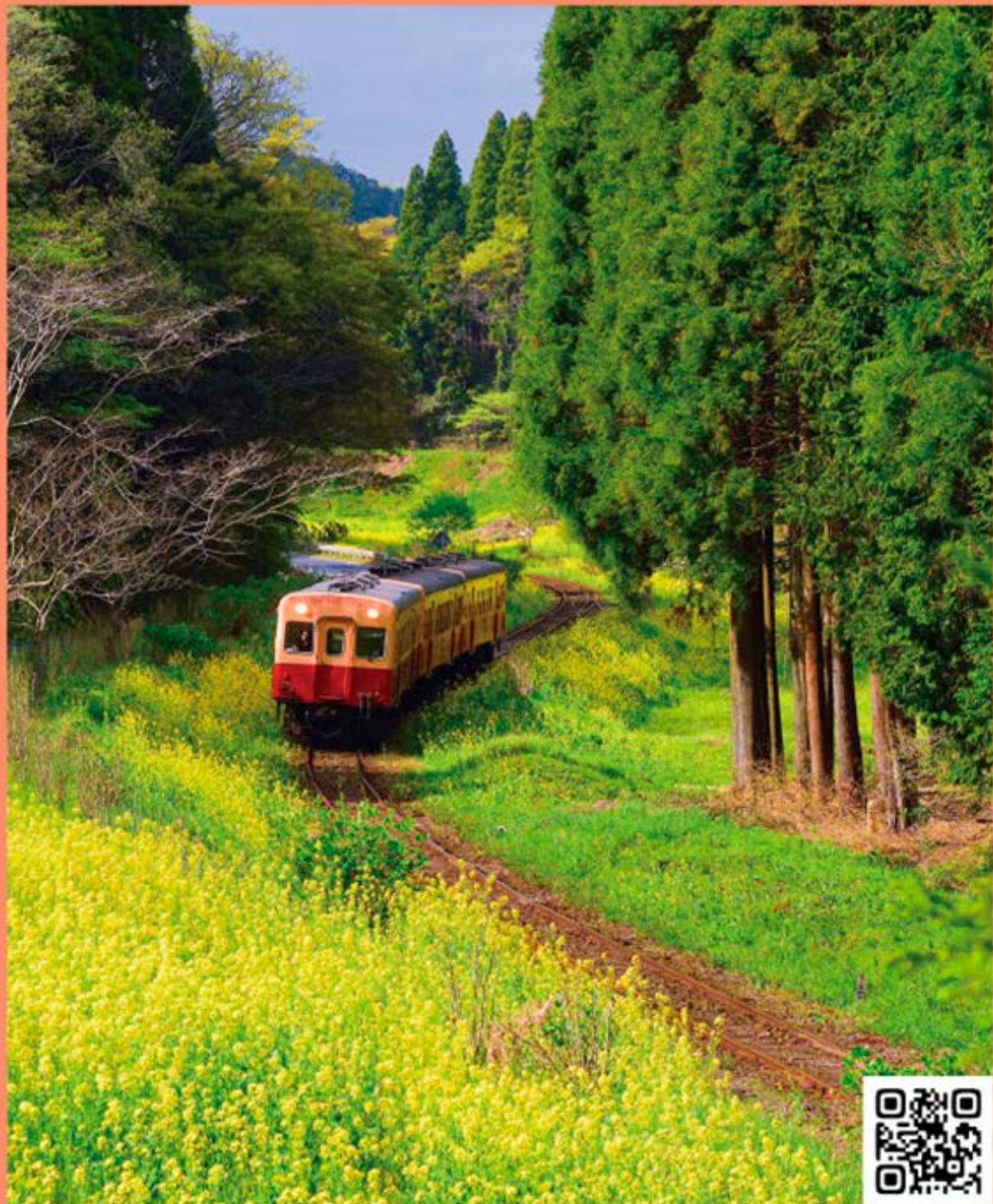
英知 · 高潔 · 氣魄



至誠 · 剛健 · 公正

第32号

2026



新会長に就任して



同窓会長
はなざわ りょう ぞう
花 澤 良 三
(昭和42年卒)

令和7年8月2日に開催された同窓会総会で新しい会長に選任頂きました花澤良三です。4年間会長を歴任された石川正徳氏からバ

トンを引き継ぎ、会長職を全うする所存です。私は同窓会の使命は、共通のアイデンティティを備えた「卒業生が相互親睦を図ること」、また合わせて137年間の歴史と3万人の卒業生がいる長生高校の良い伝統を承継していくため、「在校生の支援を行なうこと」であり、これらが活動の両輪であると考えています。

1. 同窓生の親睦をはかる企画

コロナ禍で途絶えていたイベントの復活をしていきます。また新たな試みとして、女性会員及び平成年度の卒業生の参加できるイベントの開催、同窓会の会員が集まれる部屋を学校内に確保できる様に企画しています。

2. 現役の在校生が置かれている現在位置

現在の1学年在籍者数は約280人です。千葉県の人口は大幅に増えているのに、本校の周りの市町村は過疎化が一段と進み生徒数が減っています。本校を志望する生徒は地元の長生、夷隅郡市で約半分、「下り組」と称す千葉市や市原市などからが約半分の状況です。「下り組」に支えられて生徒数を確保しているのが現状です。残念ながら、地元でも、「下り組」でも一番手の志望校にはなっていないのも現状です。特に「下り組」は厳しい競争に直面しています。この状況を十分ご理解ください。また私立高校に有利に働くと思われる「高校の授業料無償化」も追い打ちをかけています。

3. 組織の見直し

以上の2つの使命の実現には、実効性の担保が必要です。卒業生の皆様方が同窓会に参加しやすい環境を整備することが重要と考えています。親睦をはかること、在校生の支援の為、新たに委員会を整備して、目的毎に具体的な活動を企画支援していく体制を作っていきたいと考えています。卒業生の皆様方が人的、金銭的支援を具体的に実行できる体制を整備したいと考えています。長生高校の伝統維持の為、新任の森裕嗣校長をはじめ各先生方は頑張って生徒指導にあたっています。より良い環境を整備して、優秀な生徒が長生高校を志望できるように支援していききたいと思います。皆様方のご理解ご協力をお願いします。

なお、長生高校は令和10年(2028年)に創立140周年を迎えますが、その記念事業を同窓会としても支援すべく、準備作業に入る旨、総会で決議されました。この事業につきましても今後の皆様のご協力をお願いします。



総合建設業 一級建築士事務所

株式会社 山崎組

代表取締役 **山崎 忠一**
 常務取締役 **山崎 孝史** (平成17年卒)

〒299-4123 千葉県茂原市下太田1183-2
 TEL 0475(34)1211 FAX 0475(34)5048

内科

呼吸器内科

糖尿病内科

乳腺外科

- 女性医師診療
- 予約制
- マンモグラフィー
- 超音波 有り

地域に根ざした医療を提供

黒田 医院

院長 **黒田光保** (昭和37年卒)
黒田英世・香菜子

乳腺外科(乳がん検診)は予約制です(電話予約可)
 〒241-0835 横浜市旭区柏町 47-11 ☎045-364-9772

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:00	●	●	●	休	●	●	休
午後 3:00 ~ 6:00	●	●	●	休	●	休	休

祝祭日は休診

同窓生とともに「人を磨く」



校長
もり ひろ ぶく
森 裕 嗣
(昭和60年卒)

令和7年4月に、校長として着任いたしました森裕嗣と申します。茂原高校からの異動です。どうぞよろしく願います。各地域・職域

の梨葉会では、同窓の皆様への熱い思いを実感しているところです。心から感謝申し上げます。

○学校教育目標

次の3点を学校教育目標に掲げました。「人を磨く」ための方策です。

- (1) 自己有用感の育成
- (2) 成長を促す生徒指導
- (3) 学習意欲を喚起する授業 可能性を最大限に広げる進路指導

長生高校ですから、(3)から入りたいところですが、先生方には、(1)、(2)があってこそ(3)であると強調し、指導の順序を意識するよう話しています。これら3点に共通して求められるものは、教職員の観察力と、教職員から生徒に発せられる言葉の質の高さだと思います。特に(1)(2)は教職員が担う割合が高いと考えますが、(3)は、学校だけが担うものではなく、外部の力をお借りして、生徒が「本物」に触れる機会を増やしていくことが重要だと考えています。

○天夢塾

私は平成16年度から6年間教諭として長生高校にお世話になりましたが、本校ではその頃からその重要性に着目し、「大学教授と語る会(大学も協力的で現在も実施しています)」や「職業人から学ぶ授業(人選など企画運営が大変でした)」を手作りで企画し実施していました。私が長生高

校を離れた翌年度、この「長高同窓会報」で同窓会が全面的に人選などで協力する「天夢塾」が始まったと



県立長生高等学校とパートナーシップ締結 地域の教育環境の拡充へ期待

勝浦市と県立長生高等学校は10月28日、交流・連携を通じて相互に理科教育の質の向上を図るとともに、地域の教育環境の拡充を目的とし、理科教育におけるパートナーシップを締結しました。勝浦市では現在、「モンシロチョウの強化事業」をはじめとする多種多様な教室を開催するなど、理科教育や探究学習を推進していることから、長生高等学校と連携することで、更なる学習機会の創出、学習意欲の向上も期待されています。



の記事を拝見し、思わず拍手をしていました。

今年度も、7月(1年生対象)に7名、12月(2年生対象)に7名、1月(定時制生徒対象)に1名、計15名の同窓生に来校いただき、「本物」の迫力で生徒の知的好奇心に火をつけ、可能性の拡大に大きく貢献していただきました。これまでに登壇された方は200名を超えると聞いています。

同窓生には、「天夢塾」以外にも大変お世話になっております。進路やSSH関係の企画で外部から様々な方が来校されています。今年度の一例です。NHKプロデューサー、地震研究者、千葉大学薬学部教員(教え子でした)など、生徒に御講演をいただきましたが、皆さん同窓生でした。圧倒的なマンパワーで生徒を磨いていただきました。

○ネットワークの拡充

本校では、これまでも大学(千葉大学、千葉工業大学、東邦大学、秀明大学、放送大学等)、企業(関東天然瓦斯、K&Oヨウ素、三井化学、双葉電子工業等)、研究所(かずさDNA研究所、県環境研究センター、県立中央博物館等)等の力をお借りし、生徒を授業の延長線上にある世界との接点に触れさせる取組を推進してまいりました。

今年度は新たに、これまでも御縁の深い勝浦市、一宮町と理科教育パートナーシップの覚書を締結いたしました。本校と自治体の相互作用により、長生高校のみならず、地域全体の教育力の最大化を目指す覚悟です。引き続き御支援のほどよろしくお願いいたします。



株式会社 竹りん

日本料理 仕出し料理 介護事業

代表取締役社長 新沢 敏夫 (昭和42年卒)

〒297-0024 千葉県茂原市八千代3-13-9

TEL 0475-24-5522

FAX 0475-24-8752

<http://www.chikurin.gr.jp>

e-mail honten@chikurin.gr.jp



ジビエジャポン

地域・職域同窓会短信

地域梨葉会 (あいうえお順)

夷隅梨葉会

会員数：270名 設立：平成23年

会 長：石野孝和 (昭50)

副 会 長：石田隆志 (昭31)

幹 事 長：山本明子 (昭49)

会 計：押塚美恵 (昭50)

事務局長：君塚正芳 (昭60)

連絡先 〒299-4501 いすみ市岬町椎木256-1

☎ 0470-87-2761 (有限会社キミヅカ内)

E-mail : isumi@chousei-dousoukai.jp

夷隅梨葉会では、令和7年11月9日にいすみ市内にある「九十九里ホテル ヴィラそとぼう」において、第11回総会を開催いたしました。同窓会会長の花澤良三様、長生高校校長の森裕嗣先生、同窓会副会長の渡邊公雄様、大網白里梨葉会会長の鈴木政男様をご来賓にお迎えし、盛大に開催させていただきました。

総会終了後には、千葉大学付属病院の鋪野紀好先生(平成13年卒)による特別講演会を開催し、「総合診療と地域医療のいま」をテーマに医療の世界の現状をお話いただきました。活発な質疑応答もあり、医療に関する関心の高さが伺えました。

その後の懇親会では、花澤会長からご挨拶と森校長先生から長生高校の現況をお話いただき、渡邊副会長の発声による乾杯で楽しく会を進めることが出来ました。今年、例年よりも多い32名の参加があり、最後には恒例の校歌熱唱で会を締めくくりました。



市原・緑梨葉会

会員数：約50名 設立：平成22年

会 長：村上一郎 (昭43)

連絡先 村上一郎 ☎ 0436-66-8393

市原・緑梨葉会は2025年10月4日、千葉市の「ホテルプラザ菜の花」で総会を開催しました。冒頭の花澤会長の挨拶において、自身が長生高校同窓会の会長に



就任したことを受けて、本梨葉会の役員の変更が提案され、会長に村上一郎、副会長に横山吉晴(昭47)などの就任が承認されました。同窓会本部から渡辺賢治副会長のご挨拶、続いて新任の森裕嗣校長先生から、赴任に当たって感じた長高生の印象や、学校動向について、これからの課題について熱心なご説明がありました。

講演会では長年東南アジアやアフリカで農業指導を行ってこられた栗田絶学(ぜつがく)様(昭43)から、「ルワンダにおける稲作技術協力事業」という演題で、JICAの協力下で行なった3年間にわたる仕事とその成果について興味深いお話があり、参加者は皆聞き入っていました。懇親会では古山文夫氏(昭42)と平野(江澤)恭子氏(昭58)の楽器伴奏でのナツメロ合唱などもあり、盛り上がりました。来賓含め34名と昨年に比べ参加者も増加し、楽しいひとときが過ごせました。

来年度も市原市、千葉市緑区在住、在勤、出身者の皆様多数の参加をお待ちしております。

大網白里梨葉会

会員数：300名 設立：昭和62年

会 長：鈴木 政男 (昭50)

副 会 長：高中 洋 (昭45)

長谷川拓人 (昭50)

高橋 陽子 (昭52)

事務局長：橋本 嘉夫 (昭50) ☎ 090-4011-6848

A I K A 愛花創業株式会社

代表取締役 花澤 良三 (昭和42年卒)

市原市海士有木661-3 TEL:0436(36)1160

クリーンエネルギーを推進するメガソーラーコンサルタント

(一社) 千葉県宅地建物取引業協会会員

大網白里梨葉会は、毎年10月の第4日曜日を総会開催日と定め実施しております。令和7年は10月26日に開催しました。例年の開始時刻は午後3時からでしたが、遠方からお越しになる方のため、開始時刻を午前11時に改めました。また、郵便はがきの値上がりのため、開催通知を往復葉書から普通葉書へ改めました。令和7年は、263通(対象は平成7年卒まで)の案内を差上げましたが、返信があったのは83通でした。率で言いますと31.6%です。平成卒に限っては、僅か6.4%でした。これは、おそらく案内状が本人に直接、届いていないのではないかと推察します。この会報をご覧の皆様(ご家族の皆様)におかれましては、本年の案内が届きましたら、連絡先を明記の上、返信くださるようお願いいたします。

さて、総会の出席者数は、毎年30数名で推移しております。令和7年は、32名の出席をいただきました。総会出席者を年代別で見ますと、80歳以上3.1% 75歳以上80歳未満31.3% 70歳以上75歳未満18.7% 65歳以上70歳未満31.3% 60歳以上65歳未満3.1% 60歳未満12.5%となっており、65歳以上が実に84.4%を占めております。最年長は昭和32年卒、最年少は平成7年卒の方でした。

大網白里梨葉会といたしましては、高齢化に伴い常連の出席者が、毎年一人減り二人減りと減少している中で、如何に出席者数を維持していくかが、課題となっております。現役世代の皆様には、今後もそれぞれの分野でご活躍されますようお願いするとともに、定年退職されました暁には、大網白里梨葉会「世代を超えた同窓会」への出席について、ご一考くださるようお願いいたします。令和8年も皆様のお越しをお待ちしております。(令和7年度総会の詳細は「長生高校同窓会で検索」して、同窓会ホームページからご覧ください。)

神奈川梨葉会

会員数：200名 設立：平成28年

会長：黒田光保(昭37) 横浜市旭区在住
副会長：林 正壽(昭40) 横浜市港北区在住

第7回神奈川梨葉会総会・懇親会を令和7年9月21日(日)に同窓会本部から石川顧問、花澤会長、秋葉副会長、渡邊副会長、森校長先生にご臨席いただき、計29名にて開催しました。

森校長先生からは、長生高校の現況・取り組み等をお話いただきました。また、懇親会の前に茂原からお越しいただいた津軽三味線の師匠・弟子の方に演奏と唄付き(民謡)を披露していただきました。力強く、きれいな音色と声にみんな魅了されました。短い時間でしたが、お互いに元気な姿を確認し、賑やかに楽しく過ごすことができました。



次回(第8回)は下記のとおり開催する予定です。

◇日時：令和8年(2026年)9月27日(日)12:00~

◇場所：崎陽軒本店(横浜駅東口)

◇連絡先：事務局 高田喜久(昭47)

E-mail: kanagawa@chosei-dousoukai.jp

☎ 090-5787-7064

京葉梨葉会

設立年：昭和35年頃 昭和59年第1回同窓会開催

会員数：例年総会出席者数80有余名

会長：水上明美(昭44)

幹事長：鹿間義弘(昭47)

事務局長：石渡正信(昭48)

連絡先 〒299-4113 茂原市法目2159

京葉梨葉会事務局 石渡正信

☎ 090-3205-5537 FAX 043-256-5815

E-mail: keiyo@chosei-dousoukai.jp

ホームページ <http://www.keiyo-riyokai.com/>

パンデミック後の令和5年7月、4年ぶりに総会を再開して以来回を重ねて参りました。本年も7月12日(土)に、石川正徳本部長(昭31)、森裕嗣校長(昭60)を来賓に、又講師には、五氣里-itsukiri料理長木村藍(きむらあい)氏(平11)をお迎えし、総会を開催いたしました。会場の京成ホテル「レストランディスカー口」に40名弱の出席者をお招きして大変和やか



千葉県いすみ市にて
1909年創業

おかげさまで卸業で115年余

株式会社 秋葉商店

〒297-0074

千葉県茂原市小林1978-29

もばらオロシティ内

TEL 0475-24-0571

FAX 0475-23-6028

取扱商品

化粧品・日用品・
AED・LED・コピー用紙
家庭用品・紙製品・事務用品

な雰囲気で開催されました。以前の出席者数には至っていませんが、毎年徐々にではありますがその数を戻しつつあります。そのような中、来賓、講師の皆様との有意義なお話を聞くことが出来、また出席された会員の方々と楽しい時を過ごすことができました。

今後の活動方針は、ハイキング部、ゴルフ部会などの活動を通して徐々にではありますが、会員同士の交流を深め、パンデミック以前よりも活発な会の運営を図ってまいります。新たな会員の参加をお待ちしています。入会・入部希望の方はホームページまたは事務局までご一報下さい。

東京長高会

会員数：約280名 設立：昭和35年

会 長：渡辺賢次（昭44）

副会長：高梨栄二（昭52）

連絡先 事務局長 浅野文秀（平4）

E-mail：tokyo@chosei-dousoukai.jp

<令和7年度 活動報告>

○幹事会（オンライン含む）：4月12日、12月6日開催

○第60回総会・講演会及び懇親会：

6月28日（土）13：00～

第一ホテル両国にて開催 参加43名

■講師 俳優・脚本家 松森謙治氏（平成19年卒）

■演題 「PLAY TALK! ～自分を表現する力を育む～」



<令和8年度 活動計画>

○新年会：

2月7日（土）13：00～

中国料理品川大飯店（品川プリンスホテル内）

○第61回総会・講演会及び懇親会：

6月20日（土）13：00～

第一ホテル両国25Fスカイバンケット「アジュール」

茂原長生梨葉会

会員数：331名（令和7年8月末日現在）

設 立：令和6年 会費：3000円/年

令和7年度茂原長生梨葉会総会を令和7年6月8日に開催いたしました。来賓のご挨拶ではこの4月から赴任された森裕嗣校長（昭和60年卒）の母校への熱いメッセージがあり、その後の講演会では前校長である河野安勝（昭和58年卒）さんによる「教育現場の現状について」の講演をいただきました。総会・懇親会を通じご来賓を含め約70名の同窓生も久々の再会もあり懇親を深めることができました。

昨年度はゴルフ同好会も発足し、会報創刊号も発行させていただきました。今後も会としてどのような活動をしていくべきかを検討し、地域梨葉会としての役割を果たしていきたいと考えております。



■令和7年度事業

令和7年6月8日：茂原長生梨葉会総会

令和7年8月2日：長高同窓会総会において母校支援金を寄付

令和7年10月29日：第2回親睦ゴルフコンペ開催

令和7年11月29日：新事業『茂原長生を知る会』バスツアー開催

令和7年12月20日：茂原長生梨葉会会報発行

顧 問：中村早苗（昭35）、会長：秋葉吉秋（昭44）

副会長：（統括）渡邊公雄（昭46）、（茂原1）新沢敏夫（昭42）、（茂原2）池澤亮（昭47）、（茂原3）関谷貞夫（昭52）（茂原4）安藤順夫（昭59）、（茂原5）金

ENASA®

株式会社 エナザ・インターナショナル

代表取締役 波多野 耀市（昭和47年卒）

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-21-20 エナザビル

TEL.(03)5413-1000 FAX.(03)5413-1001

千葉支店 〒298-0004 千葉県いすみ市大原7650-5

TEL.(0470)60-1000 FAX.(0470)60-1001

E-mail:info@enasa.net



小規模企業経営支援事業

代表理事 波多野 耀市

一般財団法人 波多野財団

〒298-0004 千葉県いすみ市大原7650-5

TEL.(0470)60-1111 FAX.(0470)60-1001

坂一郎(昭61)、(茂原市役所)白井光夫(昭59)、(一宮)浅葉文雄(昭43)、(睦沢)久我真澄(昭43)、(長生)芝崎和弘(昭49)、(白子)荒井克政(昭45)、(長柄)鶴岡春美(昭46)、(長南)大倉正幸(昭56)

事務局：荒徹(昭58)

〒297-0029 茂原市高師477荒金物(株)

☎0475-23-0230

職域梨葉会

千葉県警察梨葉会

会員数：65名 設立：昭和59年頃

会長：廣川大介(昭63)

事務局：寺口佳孝(平9)、小関貴義(平9)

千葉県警察梨葉会は、職員の親睦を深めることを目的に設立され、現在65名の会員(現役職員)が在籍しております。令和7年1月25日(土)、ホテルポートプラザ千葉において、千葉県警察梨葉会を開催しました。4名のOB、OGに御参加を頂いたほか、現役28名が参加し、親睦を深めました。

令和8年1月24日(土)、千葉市中央区今井2-5-21日本料理かめやにおいて、千葉県警察梨葉会の開催を予定しています。

千葉県庁梨葉会

会員数 187名

会長：細矢栄一(昭59)

幹事長：齋藤篤男(昭61)

連絡先 E-mail：a.situ 4 @pref.chiba.lg.jp

千葉県庁梨葉会は、千葉県庁または千葉県関係団体に勤務する職員等で構成されています。

2025年10月31日に総会・懇親会を開催し、県議会議員、地元首長、長高関係者、OB、現役職員など、世代を超えた約30名の方々にご参加いただき、会の終わりには、一同で校歌を斉唱し、同窓としての親睦を深めました。

今後とも、同窓の仲間が、先輩・後輩として、互いに助け合い、補い合って県政を支えるとともに、より一層、親睦を深めていけるような役割を担ってまいります。

なお、さらなる会の発展を目指し、新たな会員を募集中です。総会・懇親会の連絡が来ておらず、入会を希望される方は、下記までご連絡ください。

総務部：齋藤(昭61)

☎043-223-4550 E-mail：a.situ 4 @pref.chiba.lg.jp

総合企画部報道広報課：小倉(平4)

☎043-223-2286 E-mail：t.ogr 8 @pref.chiba.lg.jp

千葉市役所梨葉会

会員数：70名 設立：昭和61年

会長：高梨雅和(昭59)

幹事長：森山茂信(平5)

E-mail：shigenobu2513@city.chiba.lg.jp

千葉市役所に勤務する卒業生が会員となり、毎年度、5月の総会、翌年1月の新年会のほか、随時、有志による懇親会などを開催し、会員相互の親睦を深めております。

本会の会員は、事務職をはじめとして技術職や専門職に至るまで幅広い分野に在籍しており、日々の仕事をしている中で「同窓のきずな」という横のネットワークがいかに大切であるかということを実感しているところではあります。

5月に開催されました千葉市役所梨葉会の総会時における校長先生からのご挨拶の中で「文武両道、大器晩成の教育方針の下、社会に有用な人材の育成に努めている」とのお話を伺っており、長生高校の卒業生であることに誇りを感じるとともに、社会の一員として身の引き締まる思いを新たにしたいところです。結びになりますが、関係各位の皆様のご活躍、ご健勝をお祈り申し上げます。

茂原市役所梨葉会

会員数：約200名 設立：平成21年

茂原市役所梨葉会は、平成21年1月に母校の創立120年を機に、親睦と融和、後輩への応援を趣旨として設立され、現在、約200名の職員で構成されています。

職場では、同窓職員が各分野で連携を図りながら、市民の安全安心と公共の福祉の向上を目指して奮闘しています。

これからも、地元「茂原市役所梨葉会」として、会員一人ひとりが日々努力し、地域の発展を担っていききたいと考えております。

親子でほっと ひと息つける場所。

1階と2階、それぞれに
過ごしやすい空間を用意しています。



高速Wi-Fi



カフェ商品の
持ち込みOK



1歳からでも
食べられる



オモチャ
貸し出し

運営

株式会社さくら印刷
代表取締役 鎌田 俊郎
(昭和49年卒)

〒297-0035
千葉県茂原市下永吉399-1

kid's space SAKULAND

〒297-0035
千葉県茂原市下永吉344-1 1F

bud
cafe and bakery
Kid's Space
SAKULAND



BUD_CAFEANDBAKERY

bud cafe and bakery

〒297-0035
千葉県茂原市下永吉344-1 2F

平成6年卒業生 初の同窓会 くどう!よね!ありがとう

福井 康則

去る8月10日(火)私たち平成6年卒業生は、ホテルスプリングス幕張に於いて卒業後初めてとなる同窓会を開催しました。

前年まで長月会会長を務めた工藤孝弘氏が「俺たちもちょうど50になるし、この機会に是非やろう!」という意気込みのもと発起人を務め、安藤隆史氏を中心に会が企画されました。当日はご来賓として恩師である仲野文子、篠崎文彦両先生をお迎えする中、荒天にもかかわらず200名に近づく旧友たちが参集しました。

冒頭で述べたように卒業後初の開催ということで、参集した多くが約30年ぶりの再会を果たしました。多かれ少なかれ在校時分とは変貌を遂げてしてしまった部分はありませんでしたが、

変わらなかったものは「仲間で在ること」。30年の歳月を感じさせず、又30年前に時を戻したかのような隔たりのないトークが、クラスや部活など各所で花を咲かせました。長高での生活はたった3年間ではありましたが、その3年間が30年経過した今でも色褪せず色濃く思い起こされるあたりに、いかに長高での生活が我々の脳裏に深く焼き付いているかが強く印象づけられました。2時間という時間は全てを語るにはあまりにも短すぎ、別れが非常に名残惜しいものでありました。

今後の第2回の開催を心持ちにして報告を閉じることとします。



平成28年卒業生 卒業10周年同窓会

矢部 千晶、三浦 和記

2025年7月20日、私たち130期生は、卒業10年を記念して、「ホテルポートプラザちば」にて同窓会を開催しました。当日は約120名の同窓生が集まり、久しぶりの再会に会場は和やかな雰囲気になりました。

会では、恩師の先生方から、お一人ずつ温かいお言葉を頂戴しました。中には、当時の授業や集会を思い出すような語り口で挨拶してください先生もおり、会場は一気に当時の教室の雰囲気が戻ったようでした。

恩師であり、現在も長生高校にいらっしゃる吉永先生からは、長生高校の近況をご紹介いただきました。特に話題となったのが、今年度より導入された新制服でした。現代的で機能的な制服に、多くの同窓生が興味

を示していました。

終盤には、全員で校歌を斉唱しました。歌い出しは、記憶をたどりながらでしたが、曲が進むにつれ、当時の思い出し、3番を迎える頃には声も次第に揃い、会場全体が暖かい雰囲気になりました。

2時間半の会は本当にあつという間で、終わりの時刻となっても名残りを惜しむ声があちこちから聞こえました。次の再会を楽しみにしつつ、母校の更なる発展と参加者のご多幸をお祈りし、散会いたしました。この場をお借りして、今回の同窓会の開催にあたり、ご協力くださった皆様に心より御礼申し上げます。



出光興産 特約販売店

千葉石油株式会社



代表取締役社長 **安藤 順夫** (昭和59年卒)

【業務内容】 直営給油所県内15ヶ所
燃料油、潤滑油、潤滑剤、プラスチック包装材料、
車検、整備、修理、自動車の販売・リース、保険各種、
レンタカー、福祉用具貸与、訪問鍼灸マッサージ

〒297-0026 千葉県茂原市茂原185 TEL 0475-24-3181 FAX 0475-25-1130
<https://www.chibasekiyu.co.jp>

第二回天夢塾講師の集い

天夢塾が2012年1月の第1回開催から2025年7月で第40回を迎えたのを機に、2025年11月2日、品川プリンスホテルにて記念の懇親会が開催されました。当日は講師経験者32名に、森校長、花澤同窓会長、渡辺、秋葉、村上各副会長、および波多野事務局長の計38名が出席し、会食を共にしながら、歓談しました。

講師経験者の顔ぶれも、昭和31年卒の石川正徳氏、昭和35年卒の佐々木武二氏などの大先輩から、近くは平成26年卒の富田秀昭氏、平成28年卒の三浦和記氏まで幅広い年代、また各々の職業も会社員、大学教授、獣医師、公務員、独立自営業など様々で、社会で幅広く活躍する長生高校卒業生の縮図を見る思いでした。

天夢塾塾長を兼ねる森校長先生からは、かつて教諭として長高に奉職していた時に、是非行いたいと考えていたこのような取り組みが、その後同窓会の主催で開始され継続していること

に感謝の言葉がありました。花澤同窓会長からは、それぞれお忙しい中を後輩のためにと講師をお引き受け頂いた参加者の方へのお礼の言葉と、今後とも同窓会としてこの事業を継続する旨の決意が述べられました。参加された講師の方々も、久しぶりに訪れた母校のなつかしかった様子や、若者に接して自分も元気をもらえたことなど、和やかな雰囲気歓談されていました。また、名刺交換の時間も設けられたので、異業種交流のような場にもなり、出身地や仕事などでつながりのあることが分かった方々もおられて話が弾みました。ちなみに2022年7月の第40回までに講師になっていただいた方は200名を超えます。これらの皆様に篤くお礼申し上げると共に、母校のためにと、新たに講師を引き受けていただける方が続々と現れることを期待しております。(村上記)



内科・小児科・皮膚科・リハビリテーション科

医療法人社団 清鈴会

大木医院

理事長 大木 専一郎 (平成3年卒)

茂原市早野463-3 Tel.0475(23)2546



令和7年度天夢塾

◇第40回

日 時 令和7年7月17日(木) 13:30~16:00

対 象 1年生(280名)

内 容

講 師	組	講 義 内 容
A わたなべ 渡辺 一夫	1B	産業動物とは(養豚獣医って何?)
B くろだ 黒田 秀之	1C	旅行会社のグローバル領域における様々な事業内容と、国際競争激化に伴うこれからの若手世代に求められる能力とは何か!
C やまもと 山本 好生	1G	弁護士流?~人生岐路の駆抜メソッド~
D つじ 辻 拓己	1D	Luck in not accident
E いしわり 石渡 美紀	1E	銀行で働いて気づいたこと ~お金のプロになる仕事、銀行員のリアルな一日~
F あおき 青木 智哉	1A	「好き」を仕事にするということ ~音楽家が語る、音楽と仕事~
G みうら 三浦 和記	1F	人は夢を二度見る ~可能性を広げるためにできること~

講師略歴等

渡辺 一夫 (昭和50年卒) 株式会社ピグレッツ (養豚専門の家畜診療所)
 黒田 秀之 (昭和61年卒) SOUグローバル&コミュニケーション社
 山本 好生 (平成6年卒) 弁護士 梨本・山本法律事務所
 辻 拓己 (平成11年卒) Board Advisors Japan, Inc./Principal Consultant
 石渡 美紀 (平成15年卒) 京葉銀行
 青木 智哉 (平成20年卒) ビアニスト
 三浦 和記 (平成28年卒) Sherpa consulting Parties 経営企画室

◇第41回

日 時 令和7年12月19日(金) 13:30~16:00

対 象 2年生(272名)

内 容 (2年生の天夢塾は、生徒の希望を取り各講師に振り分けしている)

講 師	講 義 内 容
A わたなべ 渡辺 聡	電子ディスプレイの移り変わり
B にしの 西野 真樹	あなたの「Will」「Can」「Must」は?
C わたなべ 渡邊 望	日本の現状と運用資産ビジネスの紹介 ~色々な事に興味を持って心を燃やして考えよう~
D やまむら 山室 美和	Do what you Love and success will come.
E ひの 日野 皓正	愛と感謝をもって自分のためにわがままに
F よねもと 米元 綾子	IT業界入門 ~システムエンジニアについて~
G さいとう 齋藤 菜々子	好きを続けていく勇気 ~オペラ歌手を目指して~

講師略歴等

渡辺 聡 (昭和36年卒) 技術アドバイザー
 西野 真樹 (昭和58年卒) 千葉県ジョブサポートセンター キャリアコンサルタント
 渡邊 望 (昭和59年卒) アセットマネジメントOne(株) 戦略運用本部 シニアマネジャー
 山室 美和 (平成10年卒) インテリアデザイナー
 日野 皓正 (平成14年卒) 公益財団法人合気会 合気道本部道場
 米元 綾子 (平成29年卒) 株式会社大東システムエンジニアリング
 齋藤 菜々子 (平成31年卒) 新国立劇場オペラ研修所第28期生



<前列>向かって左から、B黒田、E石渡、D辻、A渡辺
 <後列>向かって左から、G三浦、F青木



<前列>向かって左から、B西野、D山室、G齋藤、F米元
 <後列>向かって左から、C渡邊望、E日野、A渡辺聡

有限会社 澤田農産

代表取締役
田邊 守 (昭和21年卒)

取締役
宮本 明佳 (平成4年卒)



〒299-4421 千葉県長生郡睦沢町長楽寺398
 TEL&FAX 0475-44-0900 Mail:info@sawadanousan.jp
 (有)澤田農産直売所 はらから ☎0475-44-2107
 睦沢町森249-2 営業時間9:00~17:00/火曜日定休日



山之内病院

医療法人社団 上総会 YAMANOUCHI HOSPITAL
 介護老人保健施設 ケアセンター かずさ

理事長 武田 從信 (昭和26年度卒)
 病院長 武田 將伸 (昭和58年度卒)
 副院長 井上 紳江 (昭和61年度卒) (武田)

看護師奨学資金貸付制度あり

〒297-0022 千葉県茂原市町保3
 Tel:0475-25-1131 Fax:0475-24-5645




◇第42回

日時 令和8年1月15日(木) 19:30~20:30

対象 定時制全学年

内容



講師	講義内容
つちや 土屋 亮氏	学校生活 ～ IT業界まで

講師略歴等

- 平成25年 いすみ市立大原中学校卒業
- 平成25年 長生高校定時制入学
- 平成28年 長生高校卒業(三修)
- 平成28年 千葉県立船橋テクノスクール・システム設計科入学
- 平成30年 同校卒業
- 平成30年 株式会社パトリオット入社 SE(システム・エンジニア)
現在に至る

新千葉法律事務所

辯護士 岡部 文彦
(昭和33年卒)

事務所
〒261-0026 千葉市美浜区幕張西1丁目12番14号
電話 043(445)7039 FAX 043(445)7040

(医) 薫聖会
高梨歯科医院
勝浦市墨名781-7
TEL: 0470-73-1051

蘇我分院 ペアデンタルケア ('22.11月開設)
千葉市中央区末広5-11-5
TEL: 043-235-8542

Dentistry is a Work of Love

理事長 **高梨 聖敏** (平成5年卒)
理事 **高梨 亜季子** (分院長)
理事 **高梨 薫敏** (昭和36年卒)

寛政6年(1794年)開設

永吉の眼科

第8代院長 千葉 彌幸 (昭和36年卒)
第9代院長 千葉 晃大 (平成16年卒)

受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8時~11時	●	●	●	×	●	●	×
14時~17時	●	×	●	×	●	●	×

☎(0475)
22-5459
茂原市上永吉732

社会福祉 法人 **長生共楽園**

顧問 **林 正彦**
(昭和38年卒)

養護老人ホーム ☎0475(24)2207
特別養護老人ホーム ☎0475(22)1888
特別養護老人ホーム第二長生共楽園ひめはる ☎0475(20)2288
茂原市みなみ地域包括支援センター ☎0475(20)2626
居宅介護支援センター ☎0475(22)8866

有限会社 モリテック

代表取締役 **森 達夫**
(昭和40年卒)

〒297-0038 千葉県茂原市長清水69
TEL 0475-23-8583
工場 千葉県長生郡長生村一松茂2566
TEL 0475-32-5522 FAX 0475-32-5599
E-Mail moritec@olive.ocn.ne.jp

最首会計事務所

税理士 **最首 利光** (昭和42年卒)

TOSHIMITSU SAISHU
CERTIFIED PUBLIC TAX ACCOUNTANT

〒297-0024 千葉県茂原市八千代2-6-14
TEL:0475-20-3561(代) FAX:0475-20-3562
E-mail:info@saista.jp

同窓会活動にご理解とご協力を

同窓会長 花澤 良三

この会報をご覧になった皆様は、同窓会活動についてある程度の知識が得られたかもしれませんが、ここではもう少し詳しく活動内容についてご説明したいと思います。なお、p28の会計報告でも昨年度の収支の詳細を確認できます。

●同窓会収入と支出

この会報に同封された振込用紙などを利用して寄付を寄せて頂いているのは毎年650~700名程度、会報配布数の約3%程度の方々です。寄付額は300~400万円。そのほかに篤志で御遺産の一部を寄付していただいたこともありました。同窓会の収入にはこの他に、新入生の入会金が90万円程度、会報掲載の広告代が130~180万円程度で、合計すると年間500~600万円になります。

一方、支出ですが、同窓会報の発行に使われる約370万円、その他活動費を除いて、毎年200万円程度が教育振興基金口座に振り込まれ、母校の教育支援に使われております。

●教育支援の内容

海外の高校との交流行事（短期派遣や受け入れ）、

SSHの海外研修活動への支援など。部活動では、関東大会、全国大会などの対外試合の遠征費や栄養費、校内に練習場のない弓道部や硬式テニス部の施設利用料、消耗品代などに使われております。また、進路指導に関して教員のレベルアップのためのセミナー受講にも使われております。なお、天夢塾活動もこの教育支援の一環と捉えることが出来ます。

●周年事業による貢献

直近の2017年、創立130周年には皆様から2100万円ものご寄付を頂き、県下の公立高校では初となるアクティブラーニングルームを開設することが出来ました。Wi-Fi設備、5台の電子黒板、6台のプロジェクター、移動式の椅子とテーブルを備えて、先進的、機動的な授業が行えるようになりました。

●今後の課題とお願い

長高生の活躍を支援するためのソフト・ハード両面の環境整備に同窓会としても更に助力を惜しまずに協力していきたいと考えています。このために寄付金を含めた物心両面の皆様のご支援を今後もよろしくお願い致します。

URL <http://sanyou.sakura.ne.jp/>
測量・地籍調査・土木設計・補償・登記

株式会社 三陽測量設計

取締役会長 古山 弘 (昭和45年卒)
代表取締役 古山 和弘 (平成8年卒)
取締役 古山 文子 (平成14年卒)

出千葉県測量設計業協会会員 千葉県補償コンサルタント協議会会員
出日本国土調査測量協会会員 公共嘱託登記士地家屋調査士協会会員
本 社 〒299-4415 千葉県長生郡睦沢町小滝475番地1
TEL0475(44)1869 FAX0475(44)1959
八街営業所 〒289-1113 千葉県八街市八街へ199番地1509
TEL043(497)2807 FAX050(3153)1280

TM 東京ミレニアム法律事務所
Tokyo Millennium

弁護士
市原 章久
Ichihara Akihisa
(平成23年卒)

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-8-14 麹町YKビル2階
直通: 03-6272-4428
TEL: 03-5276-5884(代表) FAX: 03-5276-5885
Email: ichihara@tm-lo.com

その先に人の笑顔がある

白石管工事株式会社

白石 健司 (昭和40年卒)
白石 平和 (平成7年卒) 白石 真生 (平成6年卒)
雉子島秀一 (平成7年卒) 白石咲絵子 (平成14年卒)

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮 8802 TEL 0475-42-2372



業務内容

- 天然ガス・ヨウ素事業工事の施工及び施工管理
- 上水道・都市ガス工事の施工及び施工管理

化学プラント保全のエキスパート
機器据付・配管工事・仕上工事・旋盤加工
千葉県知事許可(般-3)第32560号

東葉工業株式会社

代表取締役 仁茂田 健太郎

取締役 仁茂田 弘 (昭和46年卒)

〒297-0024 茂原市八千代1-17-14

TEL 0475(23)1964

FAX 0475(24)9208

齊藤友嘉法律事務所

弁護士 齊藤 友嘉 (昭和47年卒)

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-3

平河町平成ビル402号室

TEL 03-6271-0085

FAX 03-6271-0089

E-mail: t.saito@honey.ocn.ne.jp

URL <http://www.saito-law-office.com>



地盤保証・瑕疵保証・完成引渡し保証
建築設計施工

池澤建業株式会社
池澤一級建築士事務所

(昭和47年卒) 代表取締役 池澤 亮

〒297-0029 千葉県茂原市高師2170番地
TEL: 0475-23-2205 FAX: 0475-23-2207

Mail: ikeken@lilac.plala.or.jp

お客様の信頼のパートナーを目指します

有限会社 トラスト保険センター

桑田 光人 (昭和49年卒)

加藤 英樹 (平成9年卒)

東京海上日動火災保険株式会社 代理店

東京海上日動あんしん生命保険株式会社 代理店

〒299-4333 千葉県長生郡長生村七井土1476-1

フリーダイヤル 0120-000-398

E-mail trust-ka@n1001890.insurance-agt.ne.jp

汚水処理施設・浄化槽維持管理
飲料水貯水槽清掃・浄化槽設置工事
各種一般・業務用水質検査代行

有限会社

水のシー・クリアー

代表取締役 佐川 祐 (昭和49年卒)

大原管理センター: 〒298-0004 千葉県いすみ市大原9540-1

TEL (0470)60-9901 FAX (0470)60-9902



株式会社 MSK

Master of Services with Keeness

一般社団法人 全国警備業協会 千葉県・東京都・神奈川県・埼玉県・茨城県・
福島県・栃木県・群馬県・石川県・宮城県警備業協会 全千葉警備業協同組合
加盟

代表取締役会長

加藤 智行 (昭和50年卒)

本社

〒263-0031 千葉市稲毛区稲毛東3-6-15 川治ビル3F

TEL.043-245-3151 FAX.043-245-3997

URL <https://mskweb.net>

あなたの身になってお応えする
税金のホームドクターです

長谷川税務会計事務所

税理士
行政書士
経営心理士
長谷川 拓人 (昭和50年卒)

〒299-3218 千葉県大網白里市北飯塚330

電話 0475-73-0700(代)

ファクシミリ 0475-73-0701番

メールアドレス t-hasegawa@hase-kaikei.com

<https://www.hase-kaikei.com>



SATOPEN

株式会社 サトペン

おかげさまで67年

代表取締役 佐藤 順一 (昭和51年卒)

本社 茂原市早野972 TEL:0475-24-6846

同 窓 生 イン タ ビ ュ ー

挑戦を
めぐるエピソード

なか むら ひで とし
中村 英 俊 氏に聞く
(昭和61年卒)



中村英俊さんは三井物産という日本を代表する商社に勤務されて30年余になり、今では子会社の社長を任されるサラリーマンである。しかし、中村さんといえども、そうやすやすと今の地位を掴んだわけではない。いくつもの困難を乗り越えられたからこそその現在である。挑戦というキーワードをもとに、これまでの歩みを振り返って頂いた。2週間後に再びベルギーの新任地に社長として赴くというお忙しい中、2025年10月末に長生高校に足を運んで頂いた中村さんに、編集委員の村上と小守がお話を伺った。

で良く頑張ったよ。」と声をかけて頂きました。この言葉は現在に至るまで、私の宝物であり、「背骨」になっていると感じます。

—— 一橋大学へ進学されましたが

中村 親の応援もあって、中高時代にショートステイで何度かアメリカに行き、将来は海外で活躍したいという思いがありました。そのためには、それなりの大学を出ておかねばと一橋大学を選んだのですが、勉強をほったらかしにしていたので、楽ではなかったです。2年生のときの成績は学年でもビリの方でしたから。夏休み後に猛勉強しましたが、結果は不合格。周りの友人と比べて屈辱感を味わいました。浪人してからは、2時間かけて駿河台予備校に通い、常に教室には一番乗り、授業は一コマも残さず聞くと決めて実行しました。目標を決めたら、それに向かって計画をたて実行する、やると決めたらとことんやるという気質が後押ししたんでしょう。翌年は無事合格しました。このときの受験勉強で目標達成のコツを掴んだように思いますね。また、何かをなすには、準備が全てという教訓を得て、これも後の会社員生活に役立ちました。

—— お生まれは？

中村 茂原市の粟生野^{あおの}という、白子にも大網にも近いところ。昔は農家で私ども含め数百年その地に住んでいるという方が多い地区です。四人兄弟の長男で父も長生高校出身。本納中では部活で柔道を。体格はいいのですが、運動神経がいいという方ではありませんでした。

—— 長生高校に進学されてからは？

中村 勉強は入試が近づいてからやればよいと、タカをくくり部活中心の生活でした。入ったのはサッカー部。そもそも球技は苦手でしたが、一生を通じて必要となる、基礎体力を身につけたかったのと、校庭で練習する先輩部員達の姿がカッコ良かったという理由で選んだのですが、入部3日目に先輩から「文化部に入った方が良いんじゃないの」と言われるほどの素質でした。ラインズマンばかりで、対外試合出場も2回のみで得点1点。3年間を通じて、サッカー部員として「ほぼ底辺の存在」でした。何度も退部を考えましたが、ぎりぎり踏み止まり何とか3年間継続しました。不得意なことにあえて挑戦してやろうという気持ちもありました。

—— 会社員になってからは？

中村 一人前のつもりで入社したら、とんでもなかったです。仕事をこなせず、毎日悪戦苦闘。打ちのめされました。夜遅くまで、さらに土日も出勤してというのが3年くらい続いたでしょうか。昭和の時代の新人の育て方ですね。しかし、その時の上司は私の仕事が終わるまで、自分も仕事しながら付き合っ

—— よく耐えられましたね

中村 一旦すると決めたら諦めないという気持ちが子供の頃から強かったからでしょう。頑張ったおかげで、真夏の炎天下でも冬の寒い日でも何時間も走れる基礎体力を手に入れましたし、何を言われても、何があってもメゲない精神力を手に入れられたと思います。特に 3年生夏の最後の試合終了後に神明先生(監督)から、「3年生は皆最後まで良く頑張った。中でも中村、お前には一番敬服するよ。試合にも出れず普通なら途中で辞めている。お前は最後まで



てくれたり、今思えば頭が下がります。この時期に仕事をする上での基本的な考え方と覚悟が育まれたと思います。

—— 商社のお仕事というのはどのようなものですか？

中村 供給者を探してものを需要者に引き渡す、これを国内外で大規模に実施するのが主な仕事でしたが、近年は自社のプロジェクトに合致した有望企業に投資して成長を助けたり、例えば私が携わった例のように海外の会社を買収して農薬の販売網を欧州で築くなど、企業買収による業態拡大も重要な業務になってきました。自分は化学品関係の部門に配属されて、この業界で過ごしてきました。社会のためになり、自社のメリットにもなるテーマを設定し設計図を描き、それを実現するにはどの会社とどの会社をつなげれば良いかを判断し、相手側に自分たちの考えを理解してもらい、いかにメリットを感じてもらうか、やるべきことは沢山あります。幸い三井物産という「のれん」があるのでお話を聞いていただきやすいというメリット、大きな仕事を任されるというやりがいもあります。

—— 海外で仕事をする、生活するのに抵抗はないですか？

中村 中高時代にアメリカに短期滞在したときから、海外での生活には全く抵抗がなかったですね。今でも毎月サウジアラビアに行っていますが、感覚的には家の近所にいくのと変わらないです。入社して9年目から、香港、ニューヨーク、ロンドン、ブリュッセルと赴任していますが、どこでも対するのは同じ人だし、自分とそう違わないのだからなんとかなると思っています。仕事で接する人は、一定レベルの相手であるということもあるのかもしれませんが。文化の違いも理解して臨めばそれほど気にすることでもありません。海外駐在には家族を帯同しました。香港では中華料理店、ニューヨークでは公園も近くにありましたし、ロンドンでは博物館巡りなど、どの国でも楽しみはありますよ。仕事を通じて海外の友人も出来ました。



2011年に三井物産はハーバード大学のビジネススクールと提携して社員教育プログラムを立ち上げ、中村さんはその一期生として派遣された。三井から20名、他社から20名で6ヶ月のプログラム、うち1ヶ月が米国での研修。ここでは組織の異なる他の人たちの考え方を知ることができ、高名な講師の講義も受けて刺激になった。「ハーバードと聞くと別世界と感じられるかもしれませんが、決してそんなことはない、努力をすれば相手と対等に話も出来る、自分には無理と思込まないことが大事ですよ」とのこと。このプログラムでは自分を客観的に見ることが出来て、自身の座標軸を再確認できた。2016年にもロンドン大学のビジネススクールに派遣されて、リーダーシッププログラムを履修した。

—— ベルギーの会社には社長として赴任されたとか

中村 2020年から2024年に三井物産から出向し、欧州の農薬事業会社、三井アグリサイエンスインターナショナルの社長としてベルギーのブリュッセルに赴任しました。子会社含め欧州全体で800人程度の従業員で本社オフィスの日本人は6名ほど。ここは三井物産が買収した会社だったので、経営指針、会計基準などを三井方式に改めねばならないのですが、変わることには抵抗がある人もいました。そこで、指針を明確に示し理解されるように努めました。全従業員を前にしてスピーチをすることもありました。準備をしっかりとすれば伝えたいことは通じるとの信念で臨みました。

—— 仕事が多々変わることに抵抗はないですか？

中村 元来飽きっぽい性格なので、一つのことをずっとやるよりも、目標を決めてそれをクリヤーして次のミッションに進むというのが自分には合っているように思います。まずは自分が与えられた場所で最善を尽くし、実績が積み重なれば次第に重要な仕事を任されるようになります。

—— すごい経歴ですね

中村 私は自分がそんなすごいとは思っていないんです。一人で経理、仕入れ、調理などすべてやって店を仕切るトンカツ屋さんとかおそば屋さんとかのほうがよっぽどすごいと思いますね。私はあくまでもサラリーマンとして自分の担当職務をこなすだけです。

中村さんは終始、淡々と丁寧に話をされた。恵まれた世界にいることに感謝しているとも。閉じこもっているのは仕事にならない。頂いた名刺は若いときには年に数百枚。しかし会っているだけでも意味がない。人に共感してもらう、動いてもらうことが重要とも。講師を務めた2024年12月の天夢塾では、自分の限界を作って挑戦しないのはもったいない。目標を立てて取り組んだら、長高に入るくらいの人なら大抵のことは出来るはずと助言した。新しい任地のアントワープでのご活躍を期待したいと思います。(取材時は日本アラビアメタノール株式会社社長)

同 窓 生 イン タ ビ ュ ー

外務省で働くこと
-中国語から広がった世界-

お だか きょう こ
小 高 京 子 氏に聞く
(平成4年卒)



小高京子さんは、中国語の能力を生かし外務省専門職員として、すでに20年余のキャリアを積んだ働き盛り。APECの開催された韓国慶州から前日に帰国したばかりという小高さんに、2025年11月2日に行われた「第二回天夢塾講師の集い」の場を利用して、編集委員の村上がお話を伺った。

——ご出身は？

小高 茂原市の下永吉です。体を動かすこと、特に球技が好きだったので、茂原南中学校では卓球部に入り、中学3年生の時に茂原市の大会で優勝しました。長高でも続けようと思ったのですが、女子部員が1名しかいなかったので寂しいなと思い軟式テニス部に入りました。高校時代は部活の練習漬けで真っ黒。当時は平日も土日も練習や試合があり、夏期休暇中も休みは3日間しかなかったですね。でも友達との部活生活が長高での一番の思い出です。

——進学する際に中国語を選んだのは？

小高 中学生の頃から外国に憧れがあり、英語も好きでした。大学の進学先を選ぶときに英語学科も考えたのですが、英語は誰でも話せるので、海外で仕事をするなら、英語に加え、英語以外の言語もできた方が、よりチャンスが広がるのではと思いました。また当時1992年頃は中国ブームの最中で中国語は将来性があると考え、柏市にある麗澤大学外国語学部中国語学科に進みました。中国語学科は一学年60人で約8割が女性でした。

——大学生活はいかがでしたか？

小高 授業も充実していましたが、ディベートサークルでの活動も楽しかったです。私たちが創設メンバーで、明治や早稲田など他大学とも共同でイベントを実施するなど。この活動では物事を複数の視点から捉えることの大切さを学びました。これは今の仕事にも生きていますね。外交は自国の立場だけでなく、相手国の立場もおもんばかることが重要ですから。

——就職先に外務省を選びましたが

小高 大学の先輩で英語専攻の方が外務省におられて話を聞いていたのと、小さい頃からの外国で働きたいという思いもあり、外務省の専門職試験にチャレ

ンジしようと考えました。採用人数は60名で、そのうち中国語の枠は3名。とても狭き門ですので、3年生の時から準備を始めました。大学では中国語の勉強に加え、国際法、経済、憲法の授業を受講したり、大学で開催していた公務員講座を受講。また公務員専門の予備校にも通って、これまでできなかったくらい勉強しましたね。親に希望の進路を伝えると全力で勉強に集中しろと励まされて予備校代なども負担してくれたのは有り難かったです。その甲斐あって合格しましたが、自分は運が良かったというのが正直な思いです。

——入省してからは？

小高 外務省には新入省員向けの育成プログラムがありまして、1年目は本省で基礎的なことを学びます。私は難民支援、UNHCR関係の部署で半年、ODA関係の部署で半年、実務をしながらの研修でした。その後、3ヶ月ほど相模大野の外務省研修所で中国語の特訓、更に2ヶ月の台湾での語学研修を経て、その年の6月に北京大学に派遣されて、約2年間中国語コースと国際関係の授業を受講しました。一緒に学ぶ日本人には大学からの留学生は勿論、他の省庁の方や金融、商社、メーカーなどの企業から派遣された方など、様々でした。韓国や北朝鮮、アメリカなど他の国からの留学生も多かったです。外国人寮で生活して、授業のないときには、香港や韓国からの友達とチベット、新疆、杭州、上海、蘇州などと旅行をずいぶんしました。北京大学の学生は図書館で朝から晩まで猛勉強していて大変驚いたことを覚えています。これでは日本経済はすぐに中国に抜かれるだろうなと思いました。また、この2年間で外国人の友達もでき、香港の友人は結婚式に来てくれたりもして、今も交流が続いています。

小高さんは、このあと、北京の日本大使館に2年間勤めた。当時は教科書問題などで、日中関係があまり良くない時期であった。文化交流部門を担当し、ODAを利用して中国の文化財保護に資金協力するという仕事もあり、西安の大明宮含原殿遺跡の保存を援助するためJICAの方たちと現地に足を運んだりも。外務省の仕事は多岐にわたるので、部署が変わる度に一からその分野を学ばなければならない。苦労は多いが、それが自分の視野を広げることにもつながり、人脈もでき、やりがいにもなる。



2025年国連本部にて

——中国での勤務の後は？

小高 帰国後、文化交流や文化財保護に拘わる仕事を担当しエジプト、ブルガリア、クロアチア、ハンガリー、パプアニューギニア、フィジーなどへ出張することに。当時のパプアニューギニアは治安が悪く、出張中はホテルから一歩も外に出られず緊張感がありました。その後は2003年からアジア大洋州局中国課に異動し日中経済を担当。日中漁業協定の協議の通訳や、日中ハイレベル経済対話の通訳なども担当しました。こうした協議は他の省庁の方と共同で仕事を進めます。塩崎官房長官の通訳も担当しました。通訳の仕事では、言葉が原因で誤解を生むようなことがあってはなりません。そのためにも、交渉ごとであればそれに先立ち技術用語や、歴史的背景、交渉内容自体も自分でよく勉強し理解しておく必要があります。

——一時お仕事から離れられたとか

小高 2003年に結婚し、その後2007年に長男が生まれ、出産・育児休暇をとりましたが、そのタイミングで夫が研修と仕事でアメリカに赴任することになり、私も同行しました。その後長女も生まれて、結局5年間育児休暇を取得してその内2年間をアメリカで過ごしました。その間も語学の勉強は継続していましたが、特に英語は現地生活でブラッシュアップできたように思います。米国では中国の方ともお付き合いして、中国語もカバーしていました。ブランクを取り戻すことが大変だったにしろ、その後復職できましたし、外務省は制度的にも私のような者

にとって、働きやすい職場であると感じます。子育ての大変な時期には実家の母に手伝ってもらい、これも有り難かったです。

——復職されてからは？

小高 実は、中国に直接関係する部署には所属していないんです。ですから仕事で使う主な言語は、中国語から英語に変わりました。APEC室では貿易と投資の自由化を目指して貿易障壁の削減に取り組み、インドネシアや中国に出張。国際協力局国際保健政策室ではWHOなどと協力して、発展途上国に日本の国民皆保険健康保険制度（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ）を普及する業務を担当して、スイスのジュネーブを訪れました。2024年からは内閣官房に出向し、世界遺産の「佐渡島の金山」を担当し、中央省庁と（外務省、文化庁）と地方自治体（新潟県、佐渡市）との調整に従事しました。

——今のお仕事は？

小高 2025年からは大臣官房戦略発進推進室に移り、SNSを利用した広報活動に従事しています。2025年9月にはニューヨークでの国連総会に1週間、10月にはマレーシアでのASEAN首脳会議と韓国でのAPEC首脳会議に続けて1週間出張しました。暑さの厳しいクアラルンプールから寒さの厳しい韓国に続けて出張したので、夏用と冬用のスーツを持参しなければならず、荷物が多くて大変でした。これらの出張では、岩屋前外務大臣や茂木外務大臣が発信するメッセージの起案、調整、撮影、編集などの業務をこなしました。



2014年APEC会場にて

はつらつとした表情で、ハキハキと受け答えしていただいた小高さん。そのバイタリティーで今後も様々な部署に活動の場を広げていくことだろう。地道に仕事をこなす小高さんのような人たちによって日本外交が支えられていることを実感した取材であった。長高時代の友達の影響で最近三味線を習い始めたという。公私共々、ますますのご活躍を期待します。

寄稿



変化はチャンスなり チャンスは進歩なり

ふるや あきお
古谷 昭雄 (昭和26年卒)

長生高校を卒業して74年経ちました。旧制の長生中学に入学してからでは、80年経ったこととなります。その80年間に、その後の人生を変えた変化は沢山あります。次の3つに絞って紹介させていただきます。

1 小学校5年の時、親父の転勤で、東京から千葉・勝浦に転居

これが、私の人生最初の変化であり、大きなチャンスを生んだ。転校してすぐのこと。「主(ぬし)は何(あん)だ?」に東京生まれは「ハイ、何ですか?」と答えて、勝浦港の岸壁から海に放り込まれた。その後、皆と一日も休まず通った。

やがて、大学受験勉強の期間となる。男兄弟4人の3番目には浪人は許されない。車中の2時間、そして高校3年の夏休み・40日は稼ぎ時、兄貴の使った受験専門の本を徹底的に覚え、現役で東京・大岡山の東工大の受験に合格(13倍)することができた。

2 40年間のサラリーマン生活で、思わぬチャンスで3度「もの」にする。

東京での大学時代のことはやめて、サラリーマン時代の40年を要約させていただき、その後人生の変化：チャンスとなった3点を紹介させていただく。

親父が東京電力に勤めていて、福島原子力を作った木川田社長の子分というので、早々に東京電力に内定していたが、卒業直前に電気料金の値上げのねじれから、昭和30年の大卒採用ゼロとなり、三菱電機に拾ってもらい、都落ちして、神戸に勤めることとなった。その三菱電機時代とサラリーマン最晩年の話題を紹介させていただく。

2.1 55年前の大阪万博での仕事

2025年4月に大阪万博が開催されたが、55年前の千里での万博では、三菱電機・神戸で「送電線の保護継電器の設計・保守の責任者」として、美浜から送られて来る電気を会場に問題無く供給保守する受配電の責任者として活躍し、無事故・無停電を無事達成し、表彰をいただいた。

2.2 現場仕事の期間に、思わぬチャンスで、自分の墓作りを

設計課長の後には、現場の工作部長・開発部長・品質管理部長などをやっていたが、そこで思わぬチャンスをいただき、それが、自分と家内と二人の墓作りに役立った。それは、開発部長時代のこと、東京の電気試験所から三菱に連れていた有名な工学博士の方が亡

くなり、その葬式の全てを任された。まずは、葬儀場探し・次ぎに葬儀代を全国から集める仕事を一人で請け負い、無事に立派な葬式を終えることができた。それが縁で、定年後にはこの寺の写経の会に参加し、念仏信者としての受戒に成功、家内と二人で最後に入る墓作りに成功した。

2.3 サラリーマン人生としてのラストは変化と遊びの人生

神戸の後には、四国丸亀の工場長・本社プラント建設部長(三菱の海外工事の総責任者)、そして三菱電機定年後は、関西に戻り、関西電力と共同の栗菱コンピューターの社長を経て、65歳でサラリーマン生活をオサラバ。なお、大阪時代に、大阪中央電気クラブの写真部に入れてもらって、随分楽しませてもらい、現在も撮影会に行かせてもらっている。

3. 年金生活者として、65歳から現在まで27年間の自由人

サラリーマンを辞めてから良く遊んだ。その遊びの証拠物件として、3冊の本を作っている。以下に本の名前・製作年・頁数を要約する。

3.1 気まま熟年東海道ウォーク・近畿編 2007年出版 192頁

近畿地区の東海道自然歩道を皮切りに、山岳霊場巡りを国土地理院の地図を片手に腰に万歩計を付けて記録魔となって歩きまわった。その冊子は、極めて好評で、神戸の図書館に残っている以外残本ゼロの状況となっている。



3.2 気まま熟年東海道ウォーク・東海編 2008年出版 318頁

東海道五十三次・東海自然歩道・姫街道を歩き廻った。終着の東京・日本橋には、大学時代の仲間11人が集まってくれて、「東海道五十三次完歩オメデトウ：2005年1月16日」の看板を持って出迎えてくれた。ちなみに、近畿・東海の記録の集計をあげておく。

日数：74日、距離：1248.5km(1日平均：16.9km)、標高合計：22,471m(1日平均：303m)、宿泊：34泊

3.3 人生九十年 2024年出版 86頁

神戸の友月書房では、合同自費出版誌「ふおーらむ」を発行している。そこに、家内と年間2~3件を投稿している。この本には、九十路入りしてからの私の思い出6件、家内の油絵展示を含めて2件を出している。その中には、コーラス道楽、30回の「第九」出演なども紹介させていただいている。そして、今は、やがて九十代も93歳を迎え、さすが山登りや本格的なゴルフはできなくなってしまったが、元気でいろいろと遊び回っています。

(2025年7月記)

特集：歩いて旅する

サンチャゴ・デ・コンポステーラ
スペイン巡礼路800kmを歩く

まつの しげる
松野 繁 (昭和43年卒)

松野繁さんは県庁職員として65歳の定年まで勤めたが、現役時代にも3回に分けて四国を訪れ、10日間の野宿も含めて遍路道1200kmを歩き通した。その松野さんが退職前に思いついたのがスペイン巡礼の道の踏破である。友人から聞いたことをきっかけに、貯金を始めたり、スペイン語、フランス語のラジオ講座を聴いたり2年間かけて準備を進めた。果たしてどんな旅になったのか、編集委員の村上、小守が、ご近所にお住まいの友人、廻谷正広さん(昭43)と、松野さん宅に伺った。

松野さんは、退職後2015年の6月からの3か月を旅の期間として成田・パリ間の往復航空券を購入した。ガイドブックに辞書、ノート、着替えに雨具や懐中電灯など荷物は膨らんだ。パリに着き高速鉄道TGVでボルドーに行き、ワイナリー巡りをまず楽しんだ。1泊後に鉄道とバスでスペインとの国境の町、サンジャンピエドポールに着く。サンチャゴへのいくつかの巡礼路のうち「フランス人の道」と呼ばれる道の出発点だ。6月6日に出発したが、すぐにピレネー山脈の峠越えの道となる。様子も分からず歩き出し、峠はなんとか越えたものの、山道で夜になった。しかし、後から来た若いカップルが声をかけてきて、荷物を持って先に宿まで運んでくれた。そのあと幾度も経験した旅人同志の助け合いだ。

この旅では基本的に宿を予約することはしなかった。1日の行程を終える所には巡礼者のための宿所や少し大きな町では宿屋などがあり、人々はそこを利用する。中世に立てられたような古い施設もある。多くは簡素な造りで、簡単なベッドと共同炊事場兼食堂があり、宿泊費は応分の寄付でよい。宿泊所では1泊が原則。衛生状態がいいところばかりではないので、南京虫にやられて、かゆくてたまらなかったこともあったとか。

レストランがない所では、夕食は買って来たものを自分で調理して食べる。松野さんの楽しみは宿泊所の食事でのワインだった。毎日1本あけていたとか。「着いたらまず、食料品はどこに売っていますかと、近所の人に聞くんだ。スーパーや雑貨店ではどこでもワインが置いてあり、それも1本2ユーロくらいで安い。しかし2本呑むと翌日に響くことが分かったので毎日1本。スモモが出回る時期でね、それに塩をかけてかじると、これがワインに合うんだな」時にはフランスパンに似た細くて長いパンをかじりながら歩くことも。総じて食べ物で困ることはなかった。ワインも含めて物価が安いこと

にも助けられた。また、食事をしているときに隣の人と話をして親しくなったりするのが巡礼旅のいいところだという。

日本から持ってきた、荷物を載せて引いて歩くためのカートは、舗装されていないガタガタ道に行くうちに駄目になってしまった。代わりに一輪車を買ったが、これもなかなか使いにくい。四苦八苦している松野さんを見て、ムルタルで宿泊した宿の亭主が「おまえは荷物を持ちすぎている、無駄なもの日本に送り返したほうがよい」とアドバイスをくれた。その上、わざわざ郵便局まで一緒について来て、日本への発送を手伝ってくれた。巡礼路は夏でもそれほど暑くなく、空気も乾燥し、着たものは夕方洗濯しておけば朝になると乾いている。雨も少なく、雨具も不要だったとか。これ以降は軽くなった荷物を背負う形で歩くことに。

巡礼路に行く人たちは年間10万人ともいわれ、国籍も様々だ。欧州の人は勿論、インド人、韓国人、アルゼンチン人などに会った。ミラノの自宅から4か月かけて歩いてきたというドイツ人もいた。道ばたでぐったりしている女性がいたので尋ねてみると、オランダから歩いてきて資金も少なくなり疲れ果てているとの返事。見かねて10ユーロを差し出したら、大変感謝された。松野さん自身も、炎天下でふらふらして高速道路に迷い込み路肩に待避して緊急電話をみつけ警察に通報し、ほどなく来たパトカーに宿まで連れて行ってもらったことがあるという。



巡礼路の道標で 左が松野さん

松野さんは旅行にハーモニカを3本持参した。退屈しのぎに、道々歩きながら吹いていると人がよってくる。イギリス人やフランス人にその国の国歌を吹くととても喜ばれた。音楽は人々をつなぐ道具であり、宿舎でも興に乗ると皆で歌って盛り上がることを何度も経験した。旅の最終地のサンチャゴには聖ヤコブの遺骸を納めた大聖堂がある。8月13日に到着して、最後のスタンプを押してもらい巡礼者としての証明書をいただき、仲間たちと喜びを分かちあった。

特集：大きく羽ばたけ

システムエンジニア
として再出発よねもと あやこ
米元 綾子 (平成29年卒)

米元さんは、海浜幕張のワールドビジネスガーデン、マリブウエスト33階にオフィスを構える株式会社大東システムエンジニアリングで働く若手システムエンジニアである。しかし、彼女が大学を卒業してまず就職したのは、大手ドラッグストアであった。これが天職という今の職場に巡り会うまでの道のりも含めて、日々のお仕事のことなどを編集委員の村上、北島が、素晴らしい眺望のオフィスにお招き頂き、いろいろ伺った。

米元さんは千葉県緑区のおゆみ野で三人兄弟の長女として育った。おゆみ野南小学校、同中学校から長生高校に進学した。中学校では吹奏楽部だったが、長高では友達と一緒に卓球部に入り、日々の練習に励んだ。学業では、もともと生物に興味があったので理系コースに進み、進学先も習志野にある東邦大学の理学部生物分子学科を選んだ。

生物分子学科は男女半々の構成で、3年生後期から研究室にはいり、実験などもした。大学生活は、学業以外にも、アルティメット（フリスビーに使うようなディスクを用いた競技）同好会に入ったり、回転寿司でバイトしたり、各地のフェスで音楽を楽しんだりとエンジョイできた。この学科の卒業生は臨床検査技師や製薬会社のMRになる人が多い。米元さんが選んだのは大手ドラッグストアだった。店頭で接客したり、販促用のビラの作成をしたりと充実感があったものの、シフト制の変則勤務に体がついていかず悩んだあげく、1年半後に転職を決意した。

その頃IT企業で働く友達の仕事が面白そうなことを知りそちらの方面に進むもうと思ったが、自分には全くスキルがない。そこで役立ったのがハローワークの「教育訓練給付制度」だった。厚生労働大臣が指定する教育訓練を修了した際に、教育訓練経費の一部が支給されるもので、失業保険給付期間も教育期間に応じて延長される。米元さんは専門実践教育訓練のコースを選択し、柏にあるITスクールに片道2時間かけて6か月間通い（交通費も支給された）プログラミング言語やブラインドタッチなどをマスターして再就職にチャレンジした。



新しい就職先を選んだのが、株式会社大東システムエンジニアリングだった。2023年5月に正式採用になり、システムエンジニアとしての生活が始まった。「この会社はITの知識がなくても、入社後の教育システムが充実しているので大丈夫だと、入社してから分かったんですけどね（笑）」とは言うものの、やはり基礎知識があればそれだけ有利だ。しかも社長の行木（なめき）勝彦さんが長高の卒業生（昭和58年卒）と分かって驚いた。やはり何かの縁があったのだろう。

この会社は自治体向けシステム開発を中心に展開するIT企業で、マイナンバーカードの運用などにも貢献している。米元さんは取引先のシステムの改修作業に従事しており、先方のチームと協力して仕事をする。専門知識の足りない部分をチャレンジ精神で克服するのを苦勞とは思わないが、自分の言いたいことを明確に伝える、相手の言うことをしっかり理解するなど、一般的な言語能力が実務には大変重要であるということを感じていっている。「理系の出身ですけれど、仕事にはやはり文系の素養も大事なことに気づきました」とのこと。



一人で完結しがちな仕事ではあるが、それだからこそ報告・連絡・相談が重要なことにも気がついた。会社の業務が拡大し、従業員数も増加している。すでに新入社員の指導員も経験したという米元さん。この仕事を始めたからこそ、気づくこともある。「コンビニ端末でシステムの不具合があったときなど、裏で働くシステムエンジニアのことを考えると人ごとと思えなくなりましたね。また、うまく機能するサイトを見るとすごい技術だなあと感心します。」

転職してから2年半がたつが、まだまだスキルアップしなければと日々努力している。米元さんは、いい会社と仕事に巡り会えたことに感謝しているようだ。「仕事を辞めた時に心配していた両親から、今は表情が明るくなったね、と安心してもらえてよかったです」とも語る。取材が終わった後に社長の行木さんからもう一人長高卒業生がいますよと、田中梨紗さん（平成31年卒）を紹介された。米元さん、田中さんとも笑顔が素敵な方でした。これからの活躍を期待します。

特集：大きく羽ばたけ

オペラ歌手を
目指して

さいとう ななこ
齋藤 菜々子 (平成31年卒)

齋藤さんは、新国立劇場オペラ研修所第28期研修生5名のうちの一人に選ばれ、2025年4月から新たな環境でオペラ歌手への第一歩を踏み出した。我々にはあまりなじみのない世界でどのように道を切り開こうとしているのか、これまでの歩みと合わせて、編集委員の村上、長谷川が、リモート取材の画面越しに話を伺った。

齋藤さんは教員一家の長女としていすみ市大原で生まれ育った。4歳からピアノを習っており、小学校からブラスバンドに入り、大原中学校ではフルートを担当し、音楽は小さい頃から身近なものだった。長生高校に進学した齋藤さんは、迷わず部活として吹奏楽を選んだ。ただし楽器はトランペットに持ち替え、部活一筋の高校生活。当時は、平日は午後6時まで、土日朝から夕方まで、連日練習に励んだ。「自分たちの代は人数も、上手な人も多く、皆やる気があって、県大会で銀賞を取りました」と懐かしむ。



高校2年生のとき音楽大学への進学希望を両親に打ち明けたところ、音楽で身を立てるのは難しい、もし音楽の道に進むのなら音楽教員の資格を取るのがいいと薦められた。そこで当初は、千葉大の教育養成課程で音楽教師となる道をめざすことにした。声楽とピアノが必須実技科目であったので、高校3年の6月から声楽のレッスンを受けることにしたが、その時には声楽家になることなど全く思っていなかった。音楽以外の受験科目の勉強にはあまり身が入らないまま受験し、実技で上がってしまったりして、千葉大、学芸大、日大などに不合格。しかし、武蔵野音楽大学には合格し、そこでも音楽教員の免許は取れることがわかったので、入学することに。「母からは必ず教員免許を取りなさいと約束させられました」とのこと。



武蔵野音楽大学の音楽学部演奏学科声楽コースは定員40名。同級生は、みな自分より長く声楽のレッスンを受けて基礎が出来ているようで、はじめは場違いなところに来てしまったと感じたらしい。しかし、大学3年生の時にオペラ選抜クラスを軽い気持ちで受けて合格したのが転機となった。他の授業もこなしながらオペラの基礎訓練が続く。バレエの基礎レッスンもある。「オペラ歌手は体全体を使って発声し、演技もしながら舞台を動き回るので、アスリートのようなものですよ」と言う。この頃から声楽家という目標が見えてきた齋藤さんは大学院修士課程まで進んだ。オペラ選抜クラスの発表会や、地元のいすみ市、また茂原市などで演奏会も開いて活動するようにもなっていた。師匠の菊池英美先生がオペラ歌手を目指すようにすすめてくださり、両親も説得していただいた。「母との約束だった教員免許もきちんと取ったんですよ」と齋藤さん。場違いと感じた声楽コースだったが、修士課程を修了するときには首席だった。

新国立劇場オペラ研修所研修生の試験を受けることを決め2024年9月に願書を提出。40人余の受験者がいた。一次、二次と進み最終の三次試験では指定の一曲の歌唱、オペラの模擬レッスンで歌いながら動いたり、台詞を読んだりが課せられたが、見事合格。これで針路が定まった。2025年4月からオペラ研修生としての3年間の生活が始まった。週5日間、基本的に声楽は個人レッスン、指導者は海外でも経験を積んだ方がほとんどで、時には海外から招聘された講師の教えを受けることもある。語学やバレエなどオペラならではの研修もある。ちなみに、英語、イタリア語、ドイツ語を勉強中で、これらは舞台はもちろん、これから予定されている1年次でのドイツ、2年次でのイタリアでの海外研修の際にも役にたつ。

研修生になれば年に3回は舞台に立つことになるが、オペラを演じていて楽しいところは、自分の声大きなホールに響くことだという。演技することも好きであり、オーケストラと共に生ものの舞台を作り上げていく感覚は何にも代えがたい。しかし、声は日々変化し、コンディション作りには苦勞する。「声質は天性のもので、これを与えてくれた両親には感謝しかないですね」とのこと。ディズニーリゾートでパレードを見るのが好き、奨学金の不足を補うために土日の暇なときは学生時代からの継続で近所のパン屋さんでアルバイトをしている。そんな飾らない齋藤さんでもある。これからも修業の日々は続くが、将来は海外で活躍できるようになりたいと夢は大きい。頑張る姿を応援します。



部活訪問 剣道部

心 技 一 体

編集委員 高橋陽子(昭和52年卒)

2025年11月6日、私は、村上編集長と剣道部OBの編集委員、相場俊秀さん(昭和55年卒)とともに剣道部が練習する武道館の2階にお邪魔しました。初めて入ったそこは、気持ち良い挨拶と身の引き締まるような、しかし清々しい空気に包まれていました。2年生で部長の3段、天野大我さんと、女子部長の2段、大橋未夢(みゆ)さんにお話を伺いました。

— 部員数はどれくらいですか？

天野 男女合計で22名でしたが、3年生が引退したので現在は13名で、マネージャーが1名です。



— お二人が剣道部に入った理由や、

剣道を始めたきっかけを教えてください。

天野 小学校3年生の時に友達に誘われて道場を見学に行き、剣道を始めました。そして中学で剣道部に入部しました。長生高校には剣道部に入りたくて進みました。

大橋 私は友達に誘われて中学校時代に剣道部に入りました。元々、両親と兄が剣道をやっていたので、興味はありました。



— 部員のなかには、高校から剣道を始めた人はいますか？

天野 いいえ、現在所属している部員は皆中学校から始めている人です。最近では競技人口が減っているため部員数が少ないですが、だからこそ入部した人は意欲的な人が多いです。また、先生方がしっかりとサポートをしてくださるので、塾や他の活動と両立できています。



— 練習はどのくらいするのでしょうか？

天野 平日は16時から18時、土曜日は8時30分から11時までです。ただし、試合などのイベントがあった週は、1日休みが入ります。

— 夏休みには合宿がありますか？

天野 いいえ、合宿はないのですが、1日通しての練習日が3日間あります。

OB相場 昔は武道館の3階に1週間くらい泊まる合宿がありました。朝ごはん前から夕方までみっちり練習しましたね。

— 寒稽古があるそうですが？

天野 はい。冬休み明け後、3日間行います。始業前の6時から7時45分まで、冬でも素足で稽古するのでなかなかつらいです。

— 剣道で大事なことは何でしょうか？

大橋 練習はもちろん大事ですが、精神面でしょうか。先生からは「気持ち8割」と言われています。天野 大橋さんの言っている通りですね。強い相手でも怖がって弱気になったりせず、自分の力を最大限発揮できるような精神状態を保てるようにすることが大事です。

— 剣道をやっていて良かったことは？

天野 そうですね。体力がつくのはもちろんですが、人として成長しているなど日常生活でも感じる人が多いことです。久間先生、尾川先生、佐々木先生から、競技だけでなく礼儀や挨拶など、「生き方」をご指導いただけるので、人としてどうあるべきか、どう生きていくのかということを日々学んでいます。

大橋 はい。気持ちがすごく強くなったと思います。

OB相場 「打って反省、打たれて感謝」という言葉があります。相手を打つことが出来た場合は、自分の打突が正しかったかを反省し、打たれた場合は自分の隙を打ってくれた相手に感謝し、その経験を自己の向上につなげるという意味です。試合後の礼は、勝敗に一喜一憂せずに相手を敬う姿勢、礼節を重んずる心を表しているわけです。

— 部長としての目標などはありますか？

天野 11月末に新人戦があり、初めて3年生がいない1、2年生でのスタートとなります。部としては関東大会出場を目標としています。個人的には、もっと精神的に強くなりたいと思っています。

大橋 女子の目標は、県大会でベスト16入りです。そのためには、1回戦からしっかり勝つということが小さな目標です。個人としては文武両道を目指したいと思っています。



全学年集合写真

若いときには気持ちが不安定で、調子に乗ったり落ち込んだりするものですが、なんとも清らかな剣道部員たちの様子に心洗われた思いです。それぞれの目標に向かって、剣道部として、また個人として、活躍して欲しいと思いました。剣道の表面的な姿しか知らなかった私としては、驚くほどに潔い武道としての精神性に感動させられた時間でした。その後の打ち込み練習を見て、帰路につきながらその意味を噛み締めました。

剣道部OB会から



会長あいさつ

長生高校梨葉剣友会会長
三橋 勝美(昭和52年卒)

長生高校剣道部OB会は、長生高校梨葉剣友会と称しております。本会は、長生高校剣道部の発展向上を後援すると共に、会員相互の協力並びに親睦を図ることを目的に設立されました。戦後剣道が禁止されていた時期がありましたが、剣道部卒業生は昭和29年から令和7年まで605名となっております。

梨葉剣友会の事業としましては、現役部員の活動が充実したものとなるよう剣道部の援助を行うとともに、毎年8月に梨葉剣友会主催の梨葉杯剣道大会を開催しております。この大会は、OBが集う場でもあり地域の剣道振興

の一助にもなっております。令和7年度は節目の第40回大会となりました。大会参加校は、剣道部卒業生が指導する学校のほか、長生・夷隅・山武・市原・千葉地区などの近隣の中学校・高等学校を対象に中学男子25チーム、女子23チーム、高校男子14チーム、女子8チーム、計70チームとなりました。秋の新人戦に向けての錬成の意味も含めた大会として茂原市民体育館で盛大に開催されました。大会終了後には「交剣知愛」のもと参加した生徒とOBも含めた合同稽古も行われました。

長生高校梨葉剣友会といたしましては、今後も末長く母校長生高校剣道部の支援を続けてまいりたいと考えております。今回、同窓会報に掲載いただきましたことに、改めて感謝申し上げますとともに、長生高校同窓生及び在校生の皆様のみならずのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



逆風

長生高校剣道部元顧問
田中 富雄(昭和59年卒)

平成時代に15年間(平成12年度～26年度)顧問という立場で剣道部に関わってきた。その間立派な実績を残してくれた卒業生がたくさんいるが、具体例を挙げると収まりきらないので、どういう環境の中で部員たちが奮闘していたのかを、顧問の立場で「逆風」と感じていたものを取り上げたいと思う。

【7限授業】理数科だけの7限授業が普通科にも導入された。50分授業で、平日5日間のうち3日間授業終了は4時10分、放課後の部活動は早くても4時40分くらいから。本格的に稽古ができるのが5時から6時までの1時間だけ。始まりが遅くなくても終わりは遅らせることはできない。それが長生高校。「短時間集中」言うは易しで、なかなか厳しい。

【定期試験との闘い】定期試験の前は部活動停止期間、長高では必ず「週末をまたぐ」という日程で設定されていた。学習時間確保のためなのだが、週末に2回活動できなくなる。これには随分と歯がゆい思いをした。3学期制が2学期制となった頃、当初は前期3回後期3回と年間6回設定されていた。つまりそれだけ活動できない期間が増えるということ。これには参った。

【練習試合】チームのレベルアップには不可欠の対外試合。県外遠征や対外試合の回数などが限られていて、招待されても応えられないというケースも多々あった。当時「県外遠征は年1回」という、かなり昔にできた内規で練習試合が制限されていた。応援してくれている保護者の方々から、「もっと経験を積ませてあげて欲しい」と懇願されたものだ。

このような「逆風」にも負けず、当時の部員たちはひたむきに活動し、輝かしい成績を残してくれた。まるで、向かい風が強ければ強いほど飛距離を伸ばすスキージャンプのように。こういうところが、長高の長高たる所以ではないかと今振り返る。



剣道部の思い出

岩瀬 好央(昭和55年卒)

同期である相場(同窓会幹事)から依頼があり引き受けたものの、もう45年前のことで記憶も曖昧であるが心に残っていることを紹介させていただく。はじめに、道場にある「思無邪」の部旗は自分たちが卒業する際、多くの貴重な機会を与えてくれた長生高校剣道部に対する感謝の気持ちとして寄贈させていただいたものである。

当時の顧問青木先生の母校である県大会7連覇中の安房高を破り3位となった県新人戦。大会直前の修学旅行は木刀持参。小豆島や琵琶湖畔でランニング・素振り等の朝練も思い出深い。一番印象深い試合は県総体の木更津中央戦。大将の自分が負け、代表戦となり相場が勝つ。準決勝で習志野に敗れ3位であったが10年ぶりの関東大会出場となる。相場が負けていたら関東大会出場はなかった。

関東大会は予選リーグを勝ち、ベスト8を賭けて当時優勝候補筆頭の東海大相模と対戦。東海大相模はのちに全日本選手権初の連覇を果たした宮崎正裕氏も中堅で出場。大将戦で延長の末、自分が捨て身で打った小手が偶然当たり!?勝利するも準々決勝で安房高に敗れ終了。宿舎から会場まで、新調していただいた防具をつけたまま山手線で移動したのも最初で最後の経験だった。

「松は緑の高師が原に風に薫るは梨の花…」で始まる長高剣道小唄は、合宿中夜のミーティング後の余興で歌い継がれ自分達も自然に覚えた。ちなみに「桐の葉は…」で始まる筑波大宣揚歌は青木先生がよく歌っていた。

決して剣道一直線ではなかった自分たちが、真剣に剣道に向き合い、筑波大学での寒稽古や岐阜遠征等への参加などかなりハイレベルな剣道体験を積ませていただき、大会で実力以上の力を出せたのも故青木寛先生のおかげである。心からの感謝と哀悼の意を表し筆を置く。

●●●第47回千葉県高等学校OB野球大会で優勝!●●●

OB野球部監督 市原 一明 (昭和59年卒)

第47回千葉県高等学校OB野球大会において、長生高校OB野球部が見事25年ぶり5回目の優勝を果たしました。

このOB野球大会は、千葉県高等学校野球OB連合会が主催、千葉日報社の後援により毎年開催している大会です。ルールとしては、31歳以上の選手しかピッチャーができないことに加え、1人3イニングまでしか投げられないことと、出場している9人のうち30歳以下の選手は最大5人までしか出場できないことが特徴です。そのため、20代の若い選手だけ集めても勝つことができず、ベテランと若手がバランスよく揃うことが重要といえます。

近年の長生高校OB野球部の成績は、ベスト8が1回、ベスト4が3回、準優勝が1回と優勝まであと1歩のところまできておりましたが、なかなか優勝することができませんでした。

今年の大会の1回戦は、今大会最多参加選手数(26人)の一宮商業OB会と対戦し13対2のコールド発進となりました。2回戦の相手は県立船橋高校OB会。偏差値では及ばないが野球では負けられないと、ここも17対7でコールド勝ちとなりました。続く準々決勝は、昨年度優勝校の木更津高校OB会と対戦。両校譲らず9回終わって7対7の同点。特別ルールのコイントスの結果、日頃の行いがよかったのか、野球の神様が味方してくれて見事準決勝進出となりました。準決勝では、君津商業OB会と対戦し長高OB

野球部の猛打が爆発。44対2でコールド勝ちとなりました。

いよいよ決勝戦。過去最多6度の優勝を誇る銚子商業OB会との対戦でした。先取点を奪われ、試合は終始劣勢で進み、3対6で迎えた最終回。後のない長高OB野球部は若手からベテランまで気持ちが一つになり、見事同点に追いつき延長戦へ。延長11回、ここでも持ち味である繋ぐ野球で最後は7対6でサヨナラ勝ちを納めました。全国を制した銚子商業の黒潮打線を長生高校の高師が原打線が上回った試合でありました。

今年のチームは、昭和42年卒の阿部OB会長、昭和59年卒の市原OB野球部監督が見守る中、出場した選手は、平成元年卒から令和6年卒までと36歳の年齢差がある選手が一つのグラウンドでプレーすることでOB相互の親睦を図ることができました。今後もOB野球を通してOB会の縦横のつながりを軸にOB会が更に活性化することで、現役野球部へより一層の支援ができるよう頑張っていきたいと思います。



2027年 野球部は創部125年となります

株式会社 **丸昇建設** **MARUSHO**
CONSTRUCTION CORPORATION

代表取締役 **市原 一明** (昭和59年卒)
(野球部OB会副会長)

〒298-0003 千葉県いすみ市深堀1458
TEL 0470-62-1978 FAX 0470-62-1428
E-mail : k-ichihara@marusho-const.co.jp
http://www.marusho-const.co.jp

野球部の活躍を期待しています!

TIK
床枝衣料工業株式会社

tokoeda keitaro
代表取締役 **床枝 啓太郎** (平成3年卒)
(野球部OB)

✉ keitaro_tokoeda@tokoedairy.co.jp
☎ 090-2222-1803

第一センター
〒297-0001 千葉県茂原市七瀬3473
☎ 0475-23-1448 ☎ 0475-25-5084

にいほるセンター
〒299-4129 千葉県茂原市にいほる工業団地1番
☎ 0475-36-5665 ☎ 0475-36-2488

第二、第三センター
〒299-4104 千葉県茂原市南吉田2971
☎ 0475-30-9198 ☎ 0475-34-7551

♻️SDGsパートナー 548号



地域の研究で全国最優秀賞を受賞

戸田 ^{たける} 武瑠 (3年在学中)

発表ポスターは
ここから閲覧



本校3年生の戸田武瑠さんが2025年7月、「全国高等学校 社会科学・郷土史研究発表会 地理・産業部門」の発表で最優秀賞に輝いた。2024年12月には國學院大學主催、高校生対象の「地域の伝承文化に学ぶ」コンテストで全部門を通じて最優秀者に与えられる折口信夫賞、2025年5月には「日本地理学会 春季学術大会」の高校生ポスターセッション部門でトップの会長賞を受賞している。顕著な研究成果で、応募した賞を総なめにし、社会科学の分野において本校初の輝かしい功績を上げた。

戸田さんの研究は「農村における講集団の現状～大網白里市山辺地区を例に～」と題し地元の同地区における農業者の地縁組織「講集団」の現状とその変容を調査するものである。都市化により農業従事者の減少・高齢化が進み、コロナ禍にも見舞われ、農村集落が衰退していく中、安産・豊作祈願といった宗教的儀式や伝統的慣習、余暇活動を担ってきた講が急速にその意義を失い、縮小・廃止されていく状況を明らかにした。一方、宗教的な意義を失いながらも農業従事者の結合の場として、また高齢者福祉団体に再編されて存続している講も存在することから、講は単なる伝統的な農村の残存物ではなく、地域社会の変動に適応し、新たな役割や意義を模索し多様な機能転換を遂げていく動的な組織であると結論づけて、講が農村社会の持続可能性や地域文化の継承の手掛かりになることを期待したいと結んでいる。

戸田さんは同地区の新興住宅地に生まれ、幼い頃は夏休みに母の実家のある八街市の田舎で、祖父母に預けられて育ったとのことであり、「小学校時代から郷土の歴史や古い遺物に興味があり、町史を読むことが好きでした。歴史書もよく読んでいました」と語る。

今回の研究は、道路脇にあった卒塔婆を見つけ、それが講集団による安産祈願のためのものと知ったことがきっかけ、「講が自分の地域にもあるのだと興味を持ちました」

町史にあたったり、市職員に話を聞いたりしたが十分な成果は得られず、一念発起して高校2年生の夏休みに現地調査を敢行した。「知り合いはいませんでした。が自転車ですぐぐるぐる回って、道端で出会った高齢者に思い切って誰彼となく話しかけて聞きました。長高生と名乗ると急に打ち解けて話が進んで助かりました。人から人へとつなげてもらったり、自宅にうかがって話を聞かせてもらったり…、今でもおつきあいのある方がいます」「子安講も頼んで見学させていただきました。普段お目にかかることのない方々と話し、自らが育った環境とは異なる世界をのぞくことができました」と明るい笑顔で振り返る。今回の研究は、知人もいない農村集落に突撃し額に汗してフィールドワークにより成果を取りまとめたことが、文献や資料の調査を中心とした他の研究と大きく異なり、高く評価されて数々の榮譽ある賞へとつながった。



講の縮小・廃止が進む一方、時代を反映し多様な機能転換を遂げて生き残っている講が確認された。「人のつながりがなくなることはない。講は衰えていくであろうが、その機能は残り伝統的な講に代わる集団は必ず存続していく」「講の実態を知る方が残っているうちにしっかりと記録に残しておくことが必要だ」と熱く語る。地域を変えての新たな講の調査研究も視野に入っているとのことだ。

コンテストで最高位の折口信夫賞を受賞した國學院大學文学部への進学が既に決まっている。「大学でも講の研究を続けたい。大学院に進学して研究者か学芸員を目指したい」礼儀正しく落ち着いた話しぶり、人懐っこさを感じさせる柔和さと理論が同居する様子は大器の片りんを感じさせる。戸田さんの、今後ますますの飛躍を心よりお祈りしたい。(深山記)

野球部の活躍を期待しています!

鉄鋼二次製品卸
荒金物株式会社

代表取締役 荒 徹 (昭和58年卒)
(野球部OB会副会長)

〒297-0029 千葉県茂原市高師477
TEL 0475-23-0230(代) FAX 0475-23-0231

社会医療法人社団 正朋会 **穴倉病院**

外科・内科・整形外科・皮膚科・形成外科・消化器内科・外科・泌尿器科・肛門外科・乳腺外科・リハビリテーション科

※休診/日・祝

※診療曜日、時間はお電話でご確認ください

理事長 穴倉 朋胤 (昭和59年卒)

〒297-0029 茂原市高師687 TEL 0475-24-2171(代)

令和7(2025年度)年度入試 大学合格者数等一覧表

令和7(2025)年度4月4日現在

【1】国立大学

大学名	学 部	現役	浪人	計
北見工業大学	工	1	0	1
北海道大学	総合入試理系	1	0	1
北海道教育大学・旭川校	教 育	1	0	1
山形大学	工	0	1	1
茨城大学	工	2	2	4
筑波大学	社 会・国 際	1	0	2
	理 工	1	0	
埼玉大学	理	1	0	1
千葉大学	法 政 経	1	0	21
	教 育	10	0	
	理	3	1	
	工	5	1	
横浜国立大学	理 工	0	1	1
富山大学	理	1	0	2
	工	1	0	
岐阜大学	応用生物科学	1	0	1
静岡大学	人文社会科学	1	0	2
	理	1	0	
京都大学	工	1	0	1
大阪教育大学	教 育 夜	1	0	1
広島大学	生 物 生 産	0	1	1
合 計		34	7	41

【2】公立大学

大学名	学 部	現役	浪人	計
旭川市立大学	経 済	1	0	1
千葉県立保健医療大学	健 康 科 学	5	0	5
横浜市立大学	医 (看 護)	1	0	1
金沢美術工芸大学	美 術 工 芸	0	1	1
都留文科大学	教 養	1	0	1
愛知県立大学	看 護	1	0	1
愛知県立芸術大学	美 術	1	1	2
合 計		9	2	11

【3】大学校

大学名	学 部	現役	浪人	計
防衛医科大	看護	1	0	1
防衛大学校	理工	1	0	1
水産大学	海洋機械	1	0	1
合 計		3	0	3

【4】私立大学

大学名	現役	浪人	合計
医療創生大学	1	0	1
流通経済大学	1	0	1
国際医療福祉大学	8	2	10
城西大学	6	0	6
獨協大学	7	0	7
日本工業大学	0	1	1
文教大学	5	0	5
文京学院大学	1	1	2
目白大学	2	0	2
東都大学	1	0	1
神田外語大学	4	0	4
淑徳大学	4	0	4
城西国際大学	3	0	3
帝京平成大学	4	0	4
東京情報大学	2	0	2
秀明大学	2	0	2
*千葉工業大学	341	142	483
千葉商科大学	7	0	7
麗澤大学	1	0	1
和洋女子大学	5	0	5
青山学院大学	13	1	14
亜細亜大学	5	0	5
桜美林大学	1	0	1
学習院大学	12	0	12
北里大学	3	2	5
共立女子大学	3	1	4
杏林大学	1	0	1
慶應義塾大学	6	2	8
工学院大学	5	1	6
國學院大学	18	3	21
国士舘大学	9	0	9
駒澤大学	21	9	30
実践女子大学	1	0	1
芝浦工業大学	7	0	7
順天堂大学	14	0	14
上智大学	2	0	2
昭和女子大学	3	0	3
白百合女子大学	1	0	1
成蹊大学	5	2	7
成城大学	3	1	4
清泉女子大学	3	0	3
専修大学	20	6	26
大東文化大学	4	0	4
玉川大学	3	0	3
多摩美術大学	4	0	4
津田塾大学	3	0	3
帝京大学	3	0	3
中央大学	19	5	24
東京家政大学	3	0	3
東海大学	11	10	21
東京医科大学	1	0	1
東京経済大学	2	0	2
東京工科大学	3	1	4
東京造形大学	1	0	1
東京電機大学	17	5	22
東京農業大学	6	0	6

大学名	現役	浪人	合計	
東京薬科大学	4	0	4	
東京理科大学	10	8	18	
東邦大学	44	2	46	
東洋大学	49	13	62	
二松学舎大学	1	0	1	
日本大学	119	11	130	
日本歯科大学	2	0	2	
日本女子大学	3	1	4	
日本赤十字看護大学	3	0	3	
星薬科大学	2	0	2	
法政大学	42	7	49	
武蔵大学	4	3	7	
東京都立大学	6	1	7	
明治薬科大学	1	0	1	
麻布大学	0	1	1	
武蔵野大学	32	1	33	
明治学院大学	6	2	8	
東京医療保健大学	6	0	6	
明治大学	29	5	34	
明星大学	5	0	5	
立教大学	17	4	21	
立正大学	10	0	10	
早稲田大学	14	0	14	
神奈川大学	1	2	3	
神奈川工科大学	2	0	2	
昭和音楽大学	1	0	1	
新潟薬科大学	1	0	1	
新潟工科大学	1	0	1	
帝京科学大学	1	0	1	
岐阜医療科学大学	1	0	1	
名古屋外国語大学	0	1	1	
京都女子大学	2	0	2	
立命館大学	4	0	4	
関西学院大学	2	0	2	
奈良大学	4	0	4	
合 計		1070	257	1327

【5】海外大学

大学名	現役	浪人	合計	
Temple University	1	0	1	
高麗大学	1	0	1	
合 計		2	0	2

【6】専門学校

大学名	現役	浪人	合計	
大原ビジネス公務員専門学校	1	0	1	
合 計		1	0	1

【7】就職

職 種	現役	浪人	合計	
防衛省	1	0	1	
東金市役所	1	0	1	
長生村役場	1	0	1	
合 計		3	0	3

*千葉工業大学は複数志望制を取るもので合計数は合わない。

令和7年度合格者数 (理数科は現役の内数)

大 学	現役	浪人	計	大 学	現役	浪人	計
国立大学	34	7	41	私立大学	863	257	※1327
公立大学	9	2	11	専門職大学	0	0	0
大学校	3	0	3	私立短大	0	0	0
小 計	46	9	55		909	266	※1382

※複数合格者数

マンドリン部 あきた総文2026に 出場します！

令和8年7月に秋田県で開催される第50回全国高等学校総合文化祭に、器楽部門の千葉県代表としてマンドリン部が出場することが決定いたしました。器楽・管弦楽部門の演奏は、7月28日・29日にあきた芸術劇場ミルハスで行われます。素晴らしい演奏を期待しましょう。



令和7年度 千葉県立長生高等学校同窓会役員名簿

役名	氏名	卒年	役名	氏名	卒年	役名	氏名	卒年	役名	氏名	卒年
顧問	石川 正徳	昭31	常任幹事	最首 利光	昭42	常任幹事	深山 秀文	昭56	会報編集委員	村上 一郎	昭43
参与	河野 安勝	昭58	〃	古山 文夫	昭42	〃	御園生和夫	昭56定	〃	小守 千明	昭43
			〃	小守 千明	昭43	〃	荒 徹	昭58	〃	北島 通子	昭45
会長	花澤 良三	昭42	〃	渡辺 公孝	昭44	〃	宍倉 朋胤	昭59	〃	篠崎 文彦	昭47
副会長	黒田 光保	昭37	〃	鈴木 敏文	昭45	〃	安藤 順夫	昭59	〃	閑 幹子	昭47
〃	村上 一郎	昭43	〃	古山 弘	昭45	〃	金坂 一郎	昭61	〃	長谷川拓人	昭50
〃	水上 明美	昭44	〃	北島 通子	昭45	〃	奥苑 節子	昭62	〃	高橋 陽子	昭52
〃	渡辺 賢次	昭44	〃	篠崎 文彦	昭47	〃	荘司 和樹	平 4	〃	相場 俊秀	昭55
〃	秋葉 吉秋	昭44	〃	波多野耀市	昭47	〃	芥川 直子	平 7	〃	深山 秀文	昭56
〃	渡邊 公雄	昭46	〃	池沢 亮	昭47	〃	秋葉 絃江	平 7	〃	福井 康則	平 6
〃	石野 孝和	昭50	〃	石川 和之	昭48				〃	秋葉 絃江	平 7
〃	鈴木 政男	昭50	〃	保川 和弘	昭48				天夢塾委員	水上 明美	昭44
〃(校長)	森 裕嗣	昭60	〃	鎌田 俊郎	昭49				〃	渡辺 賢次	昭44
会計監査	橋本 嘉夫	昭50	〃	秋場 貴子	昭49	《地域支部代表》			〃	秋場 貴子	昭49
〃	永野 佳代	昭52	〃	桑田 光人	昭49				東 京	渡辺 賢次	昭44
〃	荒 徹	昭58	〃	長谷川拓人	昭50	京 葉	水上 明美	昭44	〃	奥苑 節子	昭62
常任幹事	町田 義昭	昭36	〃	高橋 陽子	昭52	大網白里	鈴木 政男	昭50	〃	芥川 直子	平 7
〃	石田 隆志	昭38	〃	横堀喜一郎	昭53	茂原長生	秋葉 吉秋	昭44			
〃	松本 哲也	昭40	〃	岡崎けい子	昭55	夷 隅	石野 孝和	昭50	事務局長	波多野耀市	昭47
〃	新沢 敏夫	昭42	〃	相場 俊秀	昭55	市原・緑	村上 一郎	昭43	事務局次長	吉永 和彦	昭55
						神奈川	黒田 光保	昭37		篠崎 文彦	昭47

紙面の都合で同窓会総会報告は今回掲載できませんでした。その内容は同窓会のホームページでご覧下さい。

いすみ市指定給水装置工事事業者(第1号)

エネルギー&住まい&暮らしのお手伝い

水道・ガスセンター

キミツカ

君塚 正芳(昭和60年卒)

(有)キミツカ いすみ市岬町椎木1762 ☎0470-87-2761

君塚 俊之(昭和63年卒) 街づくりエーター(合)

君塚 明宏(平成6年卒) 総務省

PCショップ **インパルス**

IMPULSE

IT×DX

会長 小守 千明(昭和43年卒)


代表取締役 庄司 敦(昭和61年卒)

Since 1995

〒298-0002 千葉県いすみ市日在1853-1

TEL 0470-63-1495

HP <https://pc-impulse.co.jp>



雪田ひろみ税理士事務所

HIROMI YUKITA

税理士 行政書士 **雪田ひろみ**(平成1年卒)

〒297-0029 千葉県茂原市高師94-15

TEL 0475-25-2951 FAX 0475-25-2981

URL:<http://www.office-yukita.jp> e-mail:info@office-yukita.jp

空き家をより高く売却できた

空き家オークション



庄司和樹(平成4年卒)

2025年10月26日 茂原市役所で講演

大原高校の遠隔地入学を実現

千葉県建築士会夷隅支部×いすみ市商工会

令和6年度 会務報告

令和6年 4.7	令和6年度入学式 入学者305名(普通科280名, 定時制25名) 石川会長祝辞
4.29	茂原生梨葉会設立総会 石川会長、各副会長、波多野事務局長、河野校長 出席
5.29	千葉市役所梨葉会総会 石川会長、河野校長出席
6.8	役員会 11名参加
6.21	東京長高会総会 石川会長、黒田副会長、秋葉副会長、波多野事務局長、河野校長出席
7.5	常任幹事会 22名参加 於 竹りん
7.18	『第37回天夢塾』開催 講師7名 1学年生徒対象
8.3	令和6年度同窓会総会 43名参加 於 竹りん
9.7	京葉梨葉会総会 石川会長、花澤副会長、穂坂副会長、河野校長出席
10.5	市原・緑梨葉会総会 石川会長、穂坂副会長、荘司副会長代理、河野校長出席
10.20	神奈川梨葉会総会 石川会長、花澤副会長、長嶋教頭出席
10.27	大網白里梨葉会総会 石川会長、水上副会長、秋葉副会長、河野校長出席
11.10	夷隅梨葉会総会 石川会長、黒田副会長、河野校長出席
12.20	『第38回天夢塾』開催 講師7名 2学年生徒対象
令和7年 1.9	『第39回天夢塾』開催 講師1名 定時制生徒全員対象
3.1	同窓会報第31号発行
3.4	令和6年度卒業証書授与式 定時制9名 石川会長祝辞
3.6	令和6年度卒業証書授与式 全日制普通科235名, 理数科38名, 石川会長祝辞、花澤副会長、穂坂副会長、水上副会長出席

令和6年度 同窓会会計報告

令和6年度一般会計 収入総額 8,205,307円
 支出総額 6,418,335円
 差引残額 1,786,972円(次期繰入)

(1) 収入の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
入会金	876,000	855,000	△21,000	全日制 273名×3000円 定時制 12名×3000円
繰越金	1,569,203	1,569,203	0	令和5年度末一般会計より
利息	10	543	533	一般会計預金利息
雑収入	0	449,803	449,803	会報委員会口座解約
寄付金	3,300,000	3,770,758	470,758	
会報広告	1,500,000	1,560,000	60,000	
合計	7,245,213	8,205,307	960,094	

(2) 支出の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
会報経費	3,800,000	3,682,766	△ 117,234	
会議費	100,000	3,980	△ 96,020	総会講師手土産代
儀礼費	300,000	285,000	△ 15,000	各支部総会出席
事務費	350,000	564,997	214,997	PC、スピーカー、卒業証書ホルダー、切手、送料等
旅費	150,000	222,152	72,152	各種同窓会出席等
助成金	1,500,000	1,500,000	0	教育振興基金へ
繰出金	30,000	0	△ 30,000	
Web費	55,440	57,440	2,000	ドメイン料・サーバー料・ホームページ更新費・振込手数料
事務局費	90,000	90,000		事務局、会報編集委員会、天夢塾委員会手当
予備費	165,276	12,000	△ 153,276	転退学による入会金返金 4×3000円
合計	6,510,716	6,418,335	△ 92,381	

令和6年度基本金会計 収入総額 6,491,745円
 (前年繰越金 6,491,713円+ 利息 32円)
 支出総額 0円 差引残額 6,491,745円

令和6年度 林輝基金会計 収入総額 4,457,780円
 支出総額 254,710円
 差引残額 4,203,070円(次期繰入)

(1) 収入の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
繰越金	4,455,788	4,455,788	0	令和4年度末より
利息	42	1,992	1,950	預金利息
合計	4,455,830	4,457,780	1,950	

(2) 支出の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
交通費	300,000	252,648	△ 74,450	講師への交通費等
手土産	50,000	29,160	△ 20,840	講師への手土産代
合計	35,000	254,710	△ 95,290	

令和6年度 創立100周年記念教育振興基金決算書

1 教育振興基金 普通預金 4,300,000円
 2 教育振興基金運営決算 収入総額 5,144,523円
 支出総額 2,949,193円
 差引残額 2,195,330円

(1) 収入の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
繰入金	1,500,000	1,500,000	0	同窓会から150万円
雑収入		1,100,000	1,100,000	黒田副会長から100万円、長生梨葉会から10万円
繰越金	2,544,523	2,544,523	0	前年度からの繰越金
合計	4,044,523	5,144,523	1,100,000	

(2) 支出の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	残 額	摘要
部活動助成	1,100,000	384,150	715,850	関東大会出場(陸上、水泳、ソフトテニス) 全国大会出場(美術、写真、水泳、陸上) アジアユース選手権出場(スボーツクライミング) 弓道部施設使用料補助、部活動備品消耗品
生徒・教員研究活動	1,100,000	355,767	744,233	国際交流活動英国派遣補助、国際交流活動姉妹校短期受入補助、SSH海外研修派遣補助、国際交流記念品
進学・就職指導助成	1,300,000	888,286	411,714	キャリアデザイン講演会、教育セミナー受講料
生徒の修学助成	460,000	332,750	127,250	生徒貸し出し用iPad代
環境整備	1,184,523	988,240	196,283	アクティブラーニングルームインターネット代、コピー代、クラウド整備費
合計	5,144,523	2,949,193	2,195,330	

弁 護 士
山本好生
(平成6年卒)

梨本・山本総合法律事務所
http://www.nylaw.jp/

〒260-0013 千葉市中央区中央4丁目12番1号
KA中央ビル5階
TEL:043-202-0355 FAX:043-202-0356
yamamoto@nylaw.jp(直通)

JR京葉線 蘇我駅徒歩3分
賃貸物件の仲介・管理
売買物件の買い取り・仲介

株式会社 アイ・ランド

代表取締役 **芥川直子** (平成7年卒)
(旧姓 森川)

〒260-0842 千葉県千葉市中央区南町2丁目14-6
TEL 043-305-1779

訃報

謹んで追悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

第31号発行後にご家族、知人よりご連絡いただきました方々の卒年・お名前をお知らせいたします。

Table with 5 columns: 卒年 (Year of Death), 氏名 (Name), 卒年 (Year of Death), 氏名 (Name), 卒年 (Year of Death), 氏名 (Name), 卒年 (Year of Death), 氏名 (Name). Each column lists names and their corresponding death years.

長生高校同窓会寄付金応募者 (2025年1月1日~2025年12月31日) ※1口=1,000円

卒年	氏名	口数	卒年	氏名	口数	卒年	氏名	口数	卒年	氏名	口数	卒年	氏名	口数
旧職員	山下 迪也	5	S31T	石川 幸男	3	S37C	青柳 征三	10	S40F	植草 稔	3	S43H	三枝 裕	10
旧職員	羽石 昌信	5	S32	山岸 幸子	10	S37C	腰川 日出夫	5	S40F	稗田 尚弘	2	S43H	関谷 哲男	10
旧職員	吉澤 肇	3	S32	日下 忠文	10	S37C	三橋 保和	3	S40H	河野 三千里	5	S43H	高橋 博	10
旧職員	藤井 恵美子	3	S32	江沢 清	10	S37C	森野 和幸	2	S40H	関 正夫	5	S43H	小川 宗司	5
旧職員	加藤 年雄	3	S32	関 龍幸	10	S37C	松崎 和子	1	S41A	三橋 三千男	5	S43H	長谷川 直樹	5
旧職員	三浦 雄一	2	S32	有田 忠雄	5	S37E	太田 敏子	2	S41A	岩瀬 和恵	3	S43H	小守 千明	3
旧職員	松崎 豊子	2	S32	小高 桂次郎	5	S37F	岡田 正昭	10	S41A	内藤 好枝	2	S43I	村上 一郎	5
旧職員	亀田 佳恵	2	S32	丸島 護	3	S37F	嶋田 眞理子	5	S41B	岡 潔子	5	S43I	鈴木 雅光	3
旧職員	小川 泉	1	S32	米倉 真人	2	S37F	加藤 要	5	S41B	杉 久美子	5	S43I	金坂 潤	3
旧職員	渡辺 正	1	S32T	澤田 勝	3	S37G	黒田 光保	20	S41B	安藤 眞佐子	3	S44A	秋葉 吉秋	100
旧職員	小澤 浩	1	S33	清水 三郎	20	S37G	斎藤 隆彦	10	S41C	植草 ふじ江	10	S44A	秋元 孝	10
旧職員	佐藤 義邦	1	S33	三宅 信夫	20	S37G	浅野 鐵夫	5	S41C	武内 靖子	5	S44A	高島 秀文	5
旧職員	丸田 光男	1	S33	片岡 岩夫	10	S37G	丸島 弘也	5	S41C	村田 章子	5	S44A	華表 由紀子	1
梨葉会	茂原長生梨葉会	100	S33	醍醐 眞亮	10	S37H	佐瀬 誠一郎	10	S41C	石井 茂隆	3	S44C	井下田 明男	5
S17	鈴木 隆	3	S33	土屋 文雄	5	S37H	井下田 俊昭	5	S41C	太田 博	3	S44D	湯原 由雄	2
S20	片岡 利雄	10	S33	井手ノ上美幸	5	S37H	小川 隆司	5	S41C	山本 久美子	2	S44D	高梨 良一	2
S20	大野 昌美	2	S33	神馬 勝子	3	S37H	吉野 毅	5	S41D	太田 弘子	5	S44D	波多野 知保	2
S21	緑川 博夫	2	S33	荒井 建二	3	S37T	吉田 幸生	10	S41E	渡辺 公一	2	S44E	菊地 通雅	4
S23	麻生 藤雄	10	S33	高原 良文	3	S37T	伊藤 久夫	2	S41E	金網 章子	2	S44E	匿 名	1
S24	鏡田 秀夫	5	S33	木村 直	3	S38B	林 正彦	3	S41F	河野 純生	5	S44F	中村 一男	10
S25	岩瀬 義夫	3	S33	岡部 昌曜	3	S38B	風戸 雅雄	10	S41F	高橋 良夫	5	S44F	渡辺 公孝	10
S26	高吉 満	10	S33	嶋田 文彦	2	S38C	蒔田 登志子	10	S41F	石井 敏夫	5	S44F	久我 次憲	3
S26	若菜 清英	3	S33	杉崎 孝男	2	S38C	佐々木 礼子	2	S41G	北田 勲	5	S44F	竹内 絹代	2
S27	酒巻 正臣	10	S34	高原 明	10	S38C	斉藤 玲子	2	S41G	武山 和子	4	S44F	海部 洋子	1
S27	篠田 哲彦	10	S34	斉藤 和男	5	S38C	荒川 祥子	2	S41H	林 峯子	5	S44G	河野 賢一	100
S27	最首 良夫	10	S34	岡本 武	5	S38D	星野 眞紗子	10	S41H	金澤 中道	5	S44G	藤平 幸司	10
S28	根村 隆吉	100	S34	匿 名	5	S38D	麻生 信行	5	S41H	井上 和子	5	S44I	渡辺 美津子	5
S28	小林 昌仁	5	S34	田辺 福司	5	S38D	大平 キク	5	S41T	狩野 まさ子	5	S44T	榎本 広美	3
S28	秋葉 覺	3	S34	垂井 功博	5	S38E	三橋 精美	10	S41T	石川 修	5	S45A	湯澤 郁	5
S28	大西 邦明	3	S34	幸治 孝明	5	S38E	市原 剛	2	S41T	亀井 佐一	1	S45B	時田 正樹	10
S29	昭和29年卒29会一同	66	S34	森川 和	5	S38F	水留 亨	1	S42A	高山 哲	3	S45B	岡島 和子	3
S29	伊藤 章	12	S34	古市 隆	5	S38G	林 信行	10	S42A	安藤 実	3	S45C	市東 宗男	3
S29	月岡 一郎	10	S34	草間 勲	3	S38G	中村 洋子	5	S42B	新沢 敏夫	10	S45D	井桁 孝雄	5
S29	鶴岡 正	10	S34	安形 辰个	3	S38H	石田 隆志	10	S42C	古内 茂	5	S45D	鈴木 世津子	2
S29	増田 稔	10	S34	鈴木 妙子	1	S38H	澤田 源孔	5	S42E	斉藤 泰史	5	S45E	北島 通子	5
S29	吉澤 安行	5	S35A	東條 克彦	1	S38H	北村 将英	5	S42E	古山 茂	2	S45E	石井 寿	3
S29	永野 肅	5	S35B	藤森 文子	1	S38H	井上 耕三郎	5	S42F	鈴木 勇	10	S45F	古山 弘	10
S29	野島 静枝	5	S35D	花澤 穎子	10	S38H	丸 隆	5	S42F	古山 文夫	4	S45G	田中 茂	10
S29	熱田 親憲	3	S35D	高山 忠勇	3	S38H	中村 豊	1	S42G	中村 正巳	10	S45G	飯塚 一郎	10
S29	野口 武房	3	S35E	大畑 雅美	10	S39B	橋列 和子	10	S42H	正林 義博	2	S45G	鈴木 八千代	3
S29	高橋 喜隆	2	S35F	片岡 正	5	S39B	林 久良	2	S42H	門間 友子	2	S45H	川崎 忠行	10
S29	速水 寛子	2	S36A	浅野 弘	3	S39D	釜田 英之	2	S42I	高野 だいわ	2	S45H	井桁 道和	10
S29	石井 利秋	2	S36C	柳川 美幸	10	S39E	新井 孝明	10	S42I	片岡 衛子	2	S45I	河野 正善	5
S29	下条 和一	2	S36D	白石 尚子	10	S39E	磯野 利彦	5	S43A	大多和 静代	5	S46A	森 昭博	5
S30	石毛 幸雄	10	S36D	小松川 典久	5	S39E	竹内 達哉	2	S43B	若菜 智	10	S46B	幸 三千子	10
S30	鶴澤 陽子	10	S36E	吉持 志保	15	S39G	江澤 香	5	S43B	高田 由紀	3	S46B	宮地 理恵子	1
S30	西村 堯	5	S36F	田中 洋一	10	S39H	荒井 俊行	5	S43B	松野 繁	2	S46E	三十尾 明久	3
S30	東條 康永	3	S36F	加藤 芳信	5	S39H	秋葉 光徳	2	S43B	渡辺 正夫	2	S46F	矢部 慎一	30
S31	中村 親宏	10	S36F	緑川 宏行	3	S40A	遠山 宏子	10	S43C	丸嶋 茂	10	S46F	土屋 一成	5
S31	林 暉芳	10	S36F	吉原 雅司	3	S40B	杉木 千之	10	S43C	鍋島 秀憲	5	S46F	伊藤 正	5
S31	鏡田 泰夫	10	S36H	長島 康男	10	S40C	古山 晴久	5	S43C	徳満 静子	5	S46F	忠山 昌展	5
S31	小川 英夫	8	S36H	小安 和夫	3	S40C	渡辺 規子	1	S43C	岩瀬 信孝	5	S46G	橋本 実	2
S31	小西 芳江	5	S36H	池田 正夫	2	S40C	多加 谷 彰	1	S43C	石井 英史	3	S46G	中原 和彦	2
S31	北村 良江	5	S36T	岩澤 辰興	10	S40D	齋藤 春彦	10	S43D	松本 誠一	10	S46G	行川 桂子	1
S31	杉田 政雄	5	S36T	清宮 照子	10	S40D	小西 豊	5	S43D	塚田 秀一	5	S46H	緑川 文男	1
S31	高原 正輔	5	S37A	金坂 瑞穂	5	S40E	磯崎 典子	2	S43E	穂坂 あい子	10	S47A	齊藤 周巳	5
S31	三枝 超夫	5	S37A	長谷川 勝彦	5	S40E	伊藤 正高	10	S43E	廻谷 正広	5	S47A	武藤 友嘉	5
S31	永野 明男	5	S37A	安藤 純次郎	5	S40E	山田 幸代	5	S43E	村杉 正洋	5	S47A	田村 紀子	5
S31	石井 明和子	3	S37A	杉野 雅子	5	S40E	芝崎 修二	3	S43E	井内 顕策	4	S47A	永田 典子	5
S31	古山 善之	2	S37B	牧野 春雄	5	S40E	三橋 一康	2	S43E	鹿間 博文	2	S47A	吉村 公子	5
S31	武田 裕	2	S37B	片岡 吉弘	3	S40F	三橋 涉	10	S43E	石渡 和江	2	S47B	秋葉 三喜夫	5
S31	鈴木 厚正	1	S37C	菰田 勇	10	S40F	斎藤 春芳	5	S43G	英 聖一	5	S47B	小倉 孝	3

卒年	氏 名	□数	卒年	氏 名	□数	卒年	氏 名	□数	卒年	氏 名	□数	卒年	氏 名	□数
S47C	石川 公美	2	S51C	村上 智子	2	S57G	石橋 美穂	5	H04H	小野 真紀子	2	H13J	佐藤 俊孝	2
S47D	石山 紀之	5	S51C	青盛 功江	2	S57H	安田 安利	3	H04I	浅野 文秀	5	H14C	高浦 賢太	2
S47F	戸上 和彦	1	S51C	酒井 靖	2	S57H	福井 稔彦	2	H04I	鈴木 千春	1	H15C	中村 匡	2
S47G	篠崎 文彦	5	S51C	中田 敏子	2	S58A	浜野 恵子	1	H04J	田嶋 靖	3	H15H	若菜 正誠	2
S47G	磯部 清房	3	S51C	板倉 千尋	1	S58B	匿名	100	H05A	山崎 大輔	3	H16D	河野 泰憲	2
S47G	鎗田 圭一郎	3	S51F	浅野 讓二	3	S58B	川澄 貴子	1	H05D	山口 有紀	5	H17A	市原 弘章	3
S47G	川野 恵可	1	S51G	緑川 大祐	5	S58D	末吉 敏和	10	H05E	船見 友美	10	H17E	匿名	2
S47H	野口 雅一	5	S51G	星野 勉	5	S58E	荒 徹	10	H05I	田中 博和	10	H18E	篠崎 絢	5
S47H	関 信夫	3	S51G	三橋 則夫	5	S58H	田邊 伸広	10	H05I	森池 亜津子	2	H18I	高橋 秀和	2
S47H	須美 昌輝	2	S51G	弓北 智子	3	S58H	井上 ルミ子	2	H06B	工藤 孝弘	10	H20B	内藤 大智	2
S47H	安藤 嘉朗	2	S51G	鎌田 裕美	2	S58T	三好 政美	1	H06B	里見 舞	1	H20G	子安 貴一	2
S48A	石川 和之	3	S51H	板倉 正典	10	S59A	井上 基味代	2	H06F	山本 好生	10	H20H	前嶋 恭平	2
S48A	大野 芳文	3	S51H	大金 陽和	10	S59C	鶴岡 嘉孝	5	H06F	藤本 久美子	10	H20H	吉本 志穂里	2
S48A	生駒 誠哉	2	S51H	石井 良行	2	S59D	加藤 浩	10	H06G	石谷 哲二	10	H21A	稲垣 充晋	2
S48B	昭和48年卒有志	15	S52A	岩佐 広美	5	S59F	佐藤 彰弘	5	H06G	渡邊 恵子	2	H22B	西川 健太	2
S48B	土井 了真	10	S52C	大塚 力	5	S59F	阿曾 弘信	5	H06G	梶原 一朗	1	H22B	木下 郁	2
S48B	荘司 保子	3	S52C	縄野 敏子	5	S59F	田中 富雄	3	H06I	小守 輝	2	H22E	吉松 智哉	2
S48C	小関 英司	10	S52D	相京 貢	2	S61A	渡辺 葉子	3	H07A	佐々木 啓之	2	H23H	柏木 光昭	2
S48C	齋藤 廣一	2	S52E	佐藤 仁雄	10	S61B	齋藤 篤男	10	H07B	澤田 由紀子	5	H25C	今井 優一	2
S48D	服部 君江	10	S52F	江澤 完誠	5	S61C	野村 みゆき	2	H07C	富原 佳代	5	H26C	川崎 夢実	2
S48D	綿屋 美知世	2	S52F	高梨 栄三	3	S61D	坂井 時正	5	H07C	芥川 直子	5	H26F	峰島 大誠	2
S48F	保川 和弘	10	S52F	岩瀬 悦子	3	S61D	川名 美智子	5	H07E	小高 千晃	3	H27E	齋藤 歩美	2
S48F	糸井 一郎	2	S52F	中村 祥孝	2	S61E	小林 創	5	H07F	秋元 隆	2	H27G	板倉 絢	2
S48G	安井 誠二	3	S52G	工藤 敏則	3	S62A	青柳 寿美子	5	H07F	石田 太一	1	H28	平成28年卒業生有志	87
S48G	足高 毅	3	S52H	村田 利見	5	S62B	柳島 宏	5	H07G	櫻井 由美子	3	H28C	小高 夏海	2
S48G	千田 建一	3	S53B	鈴木 昌子	3	S62D	伊藤 泰明	5	H07G	秋葉 紘江	3	H28H	永田 聡志	2
S48G	東條 正典	1	S53B	今井 洋一	2	S62E	中川 広	3	H07H	有村 唯史	3	H29G	長澤 琴乃	2
S48H	中村 敦夫	20	S53H	横堀 喜一郎	5	S62G	古内 茂	5	H08E	荒井 和紀	1	H30D	中島 えみり	2
S48H	今関 安雄	10	S53H	小西 則子	5	S62G	田辺 光晴	3	H08F	千葉 なお美	5	H31T	綿貫 勝啓	2
S48H	島田 健一	3	S54A	篠塚 ひろみ	2	S63A	高木 由佳	3	H08H	関 智之	1	R02A	齋藤 彩名	2
S49A	中山 八千恵	5	S54A	田中 衝	1	S63A	匿名	1	H09A	田島 愛	15	R02B	宮川 嵩広	2
S49B	榎本 進	10	S54B	久我 裕子	3	S63C	中村 孝治	1	H09D	久我 裕介	2	R02F	田中 淳也	2
S49B	麻生 計子	5	S54C	酒井 利男	10	S63G	高橋 茂樹	5	H09D	田口 恵里	1	R02H	渡部 智也	2
S49C	鈴木 純子	3	S54D	花沢 春雄	5	S63G	渡部 智之	2	H09D	久我 裕介	1	R03D	岩佐 脩平	2
S49C	高橋 弥生	1	S54E	長谷川 伊智郎	3	S63H	山本 敏弘	1	H09F	三次 充和	3	R04G	小島 智樹	2
S49D	江崎 晶子	2	S54H	匿名	10	H01A	木村 憲明	2	H09H	渡邊 純一	2	R05D	梶塚 祐希	2
S49E	白井 信孝	1	S55B	鈴木 幸子	3	H01D	石渡 厚	2	H09I	目黒 絵美	5	R06A	鳥海 秋奈	2
S49F	渡辺 康志	3	S55C	吉永 和彦	10	H01D	加藤 まゆみ	2	H09J	入江 文	10	R06A	大橋 葉音	2
S49F	山本 明子	2	S55E	篠田 哲寿	3	H01G	椎名 かほり	5	H10E	伊丹 喜久	3	R06B	神子 展康	2
S50B	角 謙二	5	S55F	三上 素乃子	1	H01H	吉田 淳	10	H10G	小林 悠紀	3	R06D	齋藤 一乃	2
S50B	市原 千春	3	S55H	橋 とも子	5	H01I	大塚 信一郎	10	H11C	長島 静香	2	R06E	中村 勇太	2
S50C	石野 孝和	10	S56A	永島 謙	10	H02A	山縣 一雅	1	H11D	今井 洋祐	2			
S50C	谷川 弘治	5	S56A	羽田 明浩	2	H02E	白鳥 昌彦	5	H11D	小泉 光	2			
S50C	中塚 星世	3	S56B	秋葉 了	5	H02E	田仲 暁子	3	H11D	洞内 由紀子	1			
S50D	三須 美智子	5	S56B	成澤 恵美子	5	H02G	加藤 一郎	3	H11F	野口 大輔	3			
S50D	三橋 圭子	5	S56B	原 誠	1	H02I	磯崎 憲	3	H11F	山本 裕紀子	2			
S50D	長谷川 拓人	2	S56C	飯倉 輝美	5	H02I	木滑 健二	2	H11G	瀧本 展子	1			
S50D	瀬田 光枝	2	S56D	石橋 美子	5	H02J	齋藤 淳	3	H11H	倉兼 佳子	2			
S50E	金木 正実	3	S56D	石井 真紀子	3	H03A	床枝 啓太郎	10	H12E	高橋 佐知	2			
S50F	鈴木 政男	30	S56E	片岡 秀樹	10	H03A	青柳 有紀	3	H12E	石井 利明	2			
S50F	椎野 敏彦	10	S56E	石橋 則子	10	H03C	亀崎 政幸	10	H12H	渡辺 純一	2			
S50F	木村 一三	3	S56G	鳥山 良男	10	H03E	千葉 洋志	3	H12H	清水 淑子	1			
S50F	酒井 百穂	1	S56G	飯塚 要一	10	H03G	半田 益子	4	H12I	出水 雄祐	2			
S50G	橋本 嘉夫	5	S56G	小沼 博子	3	H03H	荒井 昭平	10	H12J	松崎 裕	1			
S50G	武田 宏	2	S56H	鶴岡 靖郎	10	H03H	土屋 隆史	2	H13D	古市 恵	2			
S50H	浜出 理恵	10	S56H	清水 結子	1	H04B	堀口 多公	1						
S50H	中村 宏	10	S57A	豊田 武文	10	H04C	宮本 希世香	3						
S50H	大曾根 健久	3	S57B	三上 有佳	1	H04D	小倉 卓晃	5						
S50H	鈴木 敏彰	2	S57D	石井 敏則	3	H04F	蒔田 勇治	100						
S51A	平山 桂子	2	S57E	渡邊 良夫	5	H04F	小川 正美	10						
S51A	深澤 典子	1	S57E	川崎 宏薫	5	H04G	荘司 和樹	20						
S51B	佐藤 裕子	2	S57E	石井 馨	1	H04G	遠藤 敏夫	10						

寄付のお願い

今回も沢山の方から温かいご支援を頂き有り難うございます。皆様の寄付金は長生高校の各種行事や部活動の補助、同窓会報発行などのために、有効に役立たせて頂きます。

□数の小数点以下は四捨五入

スペイン巡礼の旅



松野繁(S43) スペイン巡礼路を歩く 19ページの記事もご覧ください

広告募集

同窓会報発行には、広告掲載からの取入が欠かせません。今では経費の約4割をまかなっております。今後の安定的な会報発行のためにも、広告を掲載される方を継続して募集しております。費用は名刺大の1コマで3万円、倍のサイズで6万円です。新たに、ご支援だけの方は、同窓会ホームページからご連絡お願いいたします。

編 | 集 | 後 | 記

今年もまた同窓会報をお手元にお届けします。様々な分野での同窓生の活躍ぶりをご覧ください。この冊子がきっかけとなり、皆様が一時でも母校のこと、旧友のことなどについて思いを返らすことになれば幸いです。

ホームページもご覧下さい
住所変更届もこちら

長生高校同窓会

検索

こちらからも

